

令和4年度 松林地区まちぢから協議会 主要事業の実績表

令和5年5月23日  
第1回茅ヶ崎市地域  
コミュニティ審議会  
資料6-1

[illegible]

# 認定コミュニティ活動状況資料

## 松林地区まちぢから協議会

### (1) 認定基準への適合に関する資料

認定基準確認表	1
規約等	2～8
委員名簿	9

### (2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する資料

前年度の活動報告書及び収支決算書	10～21
当該年度の活動計画書及び収支予算書	22～24
特定事業の概要	25
(ふくろう塾(中学生の学習支援と夕食支援事業))	
特定事業実施報告書	26～30
(ふくろう塾(中学生の学習支援と夕食支援事業))	
特定事業の概要	31
(かんがるうのぼっけ(子育て世代の居場所づくり事業))	
特定事業実施報告書	32～35
(かんがるうのぼっけ(子育て世代の居場所づくり事業))	

特定事業の概要 36

(広報活動事業)

特定事業実施報告書 37～39

(広報活動事業)

### 【参考資料】

子ども部会の活動 案内チラシ

ふくろう塾 案内チラシ

かんがるうのぼっけ 案内チラシ

松林タイムス 第11号

## 設立趣意書抜粋（地区の特性等）

松林地区は市内でも田畑が多く残る地区で、現在も農業が盛んに営まれている。また、神社や寺院なども数多く存在しており、これら「地域文化の基盤」により醸成される地域コミュニティは継続している一方、昭和の後半に実施された大規模な住宅地造成事業や開発事業により、多くの新規住民が加わり、本地区の地域性も大きく変化している。

また、9ある自治会をはじめ、福祉、青少年育成、防災・防犯など様々な分野で数多くの団体が活動している。

培ってきた伝統を重んじ、住民と地域文化が共存する松林地区であり続けるためには、今まで以上に地区の団体や住民が身近な問題について気軽に話し合い、顔の見える関係づくりや住民相互の連携を図り、「共助」の力を強くしていかなければならない。

また、従来自治会が担ってきた地域におけるコーディネート機能をさらに高め、地域横断的な取り組みを進めることが必要となることから、地域と市とが密接に連携・協力し、多くの住民で地域の情報を共有し、課題を発見し、その課題を解決していくため、新たな地域コミュニティの形成を図ることとした。

審査基準		基準への適合状況（申請時）	基準への適合状況（R 5 年度）
(1)	申請書に、主として活動する区域が記載されているか。	申請書に活動区域の記載あり。	
	申請団体の規約に、主として活動する区域が規定されているか。	規約第 1 条に市長が告示する松林地区を協議会の活動区域とする旨規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
	規約に規定された主として活動する区域が、市長の告示する区域と合致しているか。	市長が告示する区域である、審議会ファイル「別図 7」と規約第 1 条における協議会の活動区域が合致。	・申請時と同様で変更無し。
(2)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、当該活動区域に有する、市長に届け出た全ての自治会（以下「全ての自治会」という。）が規定されているか。	規約第 6 条（1）に「松林地区に属する各単位自治会の代表」が委員である旨記載あり。	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、全ての自治会が構成員であることが明確であるか。	市長に届け出た自治会は「地区別単位自治会の名称」のとおり 9 自治会あり、名簿に、「地区別単位自治会の名称」に記載されている全ての自治会名が記載されている。	・申請時と同様で変更無し。
(3)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例施行規則第 3 条第 1 項各号に規定された団体が規定されているか。	規約第 6 条（2）～（1 2）に規定あり。 ◆地域福祉の推進を主たる目的とするコミュニティ （2）松林地区社会福祉協議会の代表 （3）松林地区民生委員児童委員協議会の代表 ◆文化、芸術又はスポーツの振興を主たる目的とするコミュニティ （4）松林地区体育振興会の代表 ◆児童又は青少年の健全な育成を主たる目的とするコミュニティ （5）松林学区青少年育成推進協議会の代表 （6）室田小学校区青少年育成推進協議会の代表 （7）松林小学校 P T A の代表 （8）室田会の代表 （9）松林中学校 P T A の代表 （1 0）松林学区青少年指導委員の代表 （1 1）室田学区青少年指導員の代表 （1 2）小和田学区青少年指導委員の代表	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、前項の団体が構成員であることが明確であるか。	名簿に、「規約第 6 条（2）～（1 2）」に規定される団体名が記載されている。	・申請時と同様で変更無し。
(4)	申請団体の規約に、公募により選出される構成員について規定されているか。	規約第 6 条（1 5）に規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
(5)	申請団体の規約に、申請団体の活動又は事業に活動区域の誰もが参加できることが規定されているか。	規約第 1 1 条、第 2 4 条～第 2 8 条に部会の規定あり。その他、松林地区まちぢから協議会部会設置規定には、松林地区に住所を有する全ての個人が参加できることが規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(6)	申請団体の規約に、運営が民主的に行われる仕組みが規定されているか。	規約第 1 1 条第 2 項及び第 3 項に過半数の出席、多数決といった意思決定の方法が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(7)	申請団体に関する、目的、名称、主として活動する区域、主たる事務所の所在地、代表者に関する事項、会議に関する事項が規定された規約があるか。	規約第 1 条に名称及び主として活動する区域、第 2 条に主たる事務所の所在地、第 3 条に目的、第 1 0 条に代表者に関する事項、第 1 1 条に会議に関する事項が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(8)	申請団体の規約に、営利的活動、宗教的活動、政治的活動を主たる目的とする事業が行われないことが読み取れるか。		・別紙事業報告書のとおり、規約第 3 条に規定された目的達成に関する事業のみを行っている。



## 松林地区まちぢから協議会規約

(名称及び区域)

第1条 本会は、松林地区まちぢから協議会（以下「協議会」という。）と称し、市長が告示する松林地区（以下「松林地区」という。）を活動区域とする。

(所在地)

第2条 協議会の事務所は会長宅とする。

(目的)

第3条 協議会は、地域における課題解決のため、松林地区の代表組織として新たな地域コミュニティを形成し、自主的且つ主体的に活動するとともに、市と協働し、住みよい地域社会を構築することを目的とする。

(事業)

第4条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 松林地区の住民及び各種団体等の課題解決に向けた取り組みに関すること。
- (2) 松林地区の住民及び各種団体等の共通の学習及び行事等に関すること。
- (3) 松林地区の各種団体等の活性化及び各種団体相互の連絡調整に関すること。
- (4) 松林地区の住民の参画と情報の共有並びに協働の推進に関すること。
- (5) その他、前条の目的達成に必要な事業の実施に関すること。

(構成)

第5条 協議会は、委員、準委員、部会員で構成する。

(委員)

第6条 協議会の委員は、次に掲げる者とし、委員の数は40名以内とする。

- (1) 松林地区に属する単位自治会の代表者
- (2) 松林地区社会福祉協議会の代表
- (3) 松林地区民生委員児童委員協議会の代表
- (4) 松林地区体育振興会の代表
- (5) 松林学区青少年育成推進協議会の代表
- (6) 室田小学校区青少年育成推進協議会の代表
- (7) 松林小学校 PTA の代表
- (8) 室田会の代表
- (9) 松林中学校 PTA の代表
- (10) 松林学区青少年指導員の代表
- (11) 室田学区青少年指導員の代表
- (12) 小和田学区青少年指導員の代表
- (13) 第24条第4項に定める部会長
- (14) 協議会が推薦する者
- (15) 公募による者

2 委員は松林地区に居住する者とする。

3 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 欠員による補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(準委員)

第7条 協議会に準委員を置く。

2 準委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

3 欠員による補充準委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第8条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 4名
- (3) 書記 1名
- (4) 会計 1名
- (5) 監事 2名

2 前項の役員は、総会において、委員の中から選任する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 欠員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(役員の職務)

第10条 役員は、次の職務を行う。

- (1) 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- (3) 書記は、会議の記録及び協議の事務を行う。
- (4) 会計は、協議会の運営及び活動に関する会計事務を行う。
- (5) 監事は、本会の会計事務及び業務執行について監査を行い、毎年定期総会に報告する。会計事務及び業務執行について不正の事実を発見し、総会に報告の必要があると認めるときは、臨時総会の開催を請求する。

(会議)

第11条 協議会の会議は、総会、役員会、運営委員会及び部会とする。

2 総会及び運営委員会は構成員の過半数が出席しなければ開くことができない。ただし、総会及び運営委員会において委任状の提出があった委員および準委員については、出席があったものとみなす。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

(総会の構成)

第12条 総会は、委員をもって構成する。

2 総会の議長は、その総会において、出席した委員の中から選出する。

(総会の種別)

第13条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

2 定期総会は、年度当初に開催する。

3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、総会を構成する者の三分の一以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき及び第10条第5号の規定により監事から請求があったときに開催する。

(総会の招集)

第14条 総会は、会長が招集する。

2 総会を招集するときは、委員に対し、会議の目的、内容、日時及び場所を示して会議の7日前までに通知しなければならない。

(総会の議決事項)

第15条 総会は、次に掲げる事項を議決する。

- (1) 事業報告及び決算に関すること。

- (2) 事業計画及び予算に関すること。
- (3) 役員の選任に関すること。
- (4) 規約等の制定及び改正に関すること。
- (5) その他、協議会の組織及び運営方針に関すること。

(総会の議事録)

第16条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 委員の現在数及び出席者数（委任状を提出した委員も含む。）
- (3) 開催目的、協議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその総会において選任された議事録署名人2名以上の署名押印をしなければならない。

(役員会の構成)

第17条 役員会は、役員（監事を除く）をもって構成する。

- 2 役員会の議長は、本会の会長が就く。
- 3 役員会には、役員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

(役員会の招集)

第18条 役員会は、会長が必要と認めたときに招集する。

(役員会の議決事項)

第19条 役員会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会及び運営委員会に付議する事項に関すること。
- (2) 総会及び運営委員会の議決を要しない会務の執行に関すること。
- (3) 総会、運営委員会、部会の会務の調整に関すること。

(運営委員会の構成)

第20条 運営委員会は、委員及び準委員をもって構成する。

- 2 運営委員会の議長は、協議会の会長が就く。
- 3 運営委員会には、委員及び準委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。

(運営委員会の招集)

第21条 運営委員会は、会長が必要と認めたときに招集する。

(運営委員会の議決事項)

第22条 運営委員会は、次の事項を議決する。

- (1) 委員及び準委員の選任に関すること。
- (2) 部会長や部会員の選任に関すること。
- (3) 事務局の選任に関すること。
- (4) 部会の設置に関すること。
- (5) 部会間や団体間の連絡調整に関すること。
- (6) 各部会が協議した事業に関すること。
- (7) 協議会に寄せられた意見及び提案に関すること。
- (8) 総会の議決を要さない会務の執行。
- (9) その他に関すること。

(運営委員会の議事録)

第23条 運営委員会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所

- (2) 委員及び準委員の現在数及び出席者数（委任状を提出した委員及び準委員も含む。）
- (3) 開催目的、協議事項及び議決に関すること。
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関すること。

2 議事録には、議長及びその運営委員会において選任された議事録署名人2名以上の署名押印をしなければならない。

（部会の構成）

第24条 部会は、部会員をもって構成する。

- 2 部会に、部会長及び副部会長を置く。
- 3 部会の議長は、部会長が就く。
- 4 部会長及び副部会長は、部会の中から互選により選任する。

（部会長及び副部会長の任期）

第25条 部会長及び副部会長の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠により選任された部会長及び副部会長の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 部会長及び副部会長は、辞任又は任期満了の後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

（部会の招集）

第26条 部会は、部会長又は運営委員会が必要と認めたときに招集する。

（部会長及び副部会長の職務）

第27条 部会長及び副部会長の職務は、次のとおりとする。

- (1) 部会長は、担当部会を代表し、部会の運営を総括する。
- (2) 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときには、その職務を代理する。

（部会の協議事項）

第28条 部会は、所掌する事項について調査・審議し、役員会または運営委員会に報告する。

- 2 部会名及び所掌する事項は、別に定める。

（事務局）

第29条 協議会に、事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局は、書記が統括する。
- 3 事務局に、松林地区に居住する者から役員会が推薦し、運営委員会の議決を得た者を置くことができる。

（事務局の所掌事務）

第30条 事務局は、次の事務を司るものとする。

- (1) 会議の資料の作成に関すること。
- (2) 会議の議事録の作成に関すること。
- (3) 会計事務に伴う事項に関すること。
- (4) 茅ヶ崎市や関係団体との連絡調整に関すること。
- (5) その他、協議会の運営に必要な事項に関すること。

（事業及び会計年度）

第31条 協議会の事業及び会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日とする。

（経費）

第32条 協議会の経費は、補助金及びその他の収入をもってあてる。

（住民等からの意見等の取り扱い）

第33条 会議でだされた意見等のほか、松林地区の住民及び各種団体等から寄せられた意見等は、事務局が取りまとめ、運営委員会に報告する。

(必要事項)

第34条 その他、協議会の運営について必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は平成26年7月18日から施行する。

附 則

この規約は平成28年4月19日から施行する。

附 則

この規約は平成28年5月27日から施行する。

附 則

この規約は平成30年5月18日から施行する。

附 則

この規約は令和2年5月28日から施行する。

附 則

この規約は令和4年4月15日から施行する。

## 松林地区まちぢから協議会 部会設置規程

(趣旨)

第1条 この規程は、松林地区まちぢから協議会規約第28条第2項の規定により、松林地区まちぢから協議会の部会名及び所掌する事項等に関し必要な事項を定めるものとする。

(部会について)

第2条 松林地区まちぢから協議会に設置する部会は次のとおりとし、松林地区に住所を有する全ての個人が参加できるものとする。

- (1) 子ども部会
- (2) 防災部会
- (3) 福祉部会
- (4) 広報部会
- (5) 環境部会

(部会の所掌する事項等について)

第3条 前条に規定した部会の所掌する事項及び具体的な取り組み内容は、次のとおりとする。

- (1) 子ども部会
  - ア 青少年育成・人的交流の創出に関すること
  - イ その他運営委員会等で当該部会での検討が決定した案件等に関すること
- (2) 防災部会
  - ア 災害対策・防災力向上に関すること
  - イ その他運営委員会等で当該部会での検討が決定した案件等に関すること
- (3) 福祉部会
  - ア 誰もが安心して暮らせる地域社会を創出すること
  - イ その他運営委員会等で当該部会での検討が決定した案件等に関すること
- (4) 広報部会
  - ア 松林地区及び松林地区まちぢから協議会の情報を発信すること
  - イ その他運営委員会等で当該部会での検討が決定した案件等に関すること
- (5) 環境部会
  - ア 生活環境の改善に関すること
  - イ その他運営委員会等で当該部会での検討が決定した案件等に関すること

附 則  
この規程は、平成 28 年 2 月 26 日から施行する。

附 則  
この規程は、平成 28 年 3 月 18 日から施行する。

附 則  
この規程は、平成 29 年 3 月 17 日から施行する。

附 則  
この規程は、平成 29 年 5 月 8 日から施行する。

附 則  
この規程は、平成 30 年 6 月 22 日から施行する。

令和4年度 松林地区まちぢから協議会運営委員名簿

	役 職	所 属	氏 名
1	会 長	上赤羽根自治会	細田 勲
2	副会長	協議会推薦	安齋 英雄
3	副会長	協議会推薦	城田 誠
4	副会長	松林地区体育振興会	五反田 敏明
5	副会長	菱沼自治会	今井 邦親
6	会 計	協議会推薦	内田 紘
7	書 記	協議会推薦	森 俊彦
8	監 事	松林地区社会福祉協議会	浅岡 肇
9	監 事	民生委員児童委員協議会	小澤 雅子 ★
10		中赤羽根自治会	川口 稔
11		下赤羽根自治会	城田 勝則
12		高田自治会	上村 純夫
13		室田自治会	高橋 潔
14		ニュータウン茅ヶ崎自治会	大野 泰伸
15		ショクサンビラ自治会	森 岑夫
16		オクトス湘南茅ヶ崎自治会	渡部 英二
17		松林学区青少年育成推進協議会	柴田 晴美
18		室田小学校区青少年育成推進協議会	田中 由季乃
19		松林小学校PTA	小平 千春
20		室田会	
21		松林中学校PTA	山本 有樹
22		松林学区青少年指導員	山田 千佳子 ★
23		室田学区青少年指導員	佐藤 麻衣子 ★
24		小和田学区青少年指導員	川上 晃子
25		子ども部会長	小池 実枝子
26		防災部会長	吉原 敏明
27		福祉部会長	吉野 伸子
28		広報部会長	曾根 進三郎
29		環境部会長	池西 道郎
30		協議会推薦	神原 純子
31		協議会推薦	亀田 英明
32		協議会推薦	井野 孔美
33		協議会推薦	木村 理江
34		公募委員	川口 富士子



## 令和4年度事業報告

### 1 会議等の実施

#### (1) 総会、運営委員会、役員会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和4年 4月 8日	第1回役員会	(1)定期総会に向けた準備
4月15日	定期総会	(1)議案第1号 令和3年度事業実施報告 (2)議案第2号 令和3年度収支決算 (3)議案第3号 令和3年度会計監査報告 (4)議案第4号 規約の改正(案) (5)議案第5号 推薦委員の選任(案) (6)議案第6号 役員の選任(案) (7)議案第7号 令和4年度事業計画(案) (8)議案第8号 令和4年度収支予算(案)
5月13日	第2回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会5月定例会の報告 (2)Youth Club 松林について
5月20日	第1回運営委員会	(1)公募委員の選任(案) (2)Youth Club 松林について (3)部会等の活動報告・協議
6月10日	第3回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会6月定例会の報告 (2)認定コミュニティ特定事業審査会の報告 (3)令和4年度におけるコミセン研究会の活動について (4)子ども部会からの報告・相談 (5)市民集会
6月17日	第2回運営委員会	(1)認定コミュニティ特定事業審査会の報告 (2)令和4年度市民集会 (3)令和4年度におけるコミセン研究会の活動について (4)部会等の活動報告・協議
7月15日	第4回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会7月定例会の報告 (2)令和4年度市民集会 (3)サロンの開催について(福祉部会) (4)コミセン研究会の各班の活動状況について
7月22日	第3回運営委員会	(1)令和4年度市民集会 (2)ふくろう塾の事業変更について(報告) (3)部会等の活動報告・協議
9月16日	第5回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会9月定例会の報告 (2)令和4年度第1回地域コミュニティ審議会の報告 (3)コミセン研究会の各班の活動状況について

		(4)Youth Club 松林について (5)市民集会
9月22日	第4回運営委員会	(1)令和4年度第1回地域コミュニティ審議会の報告 (2)コミセン研究会の活動状況報告 (3)令和4年度市民集会 (4)部会等の活動報告・協議
10月14日	第6回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会10月定例会の報告 (2)市民集会のテーマについて
10月21日	第5回運営委員会	(1)市民集会のテーマについて (2)部会等の活動報告・協議
11月11日	第7回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会11月定例会の報告 (2)令和5年度の会議等日程について (3)(仮称)コミセン研究会の活動まとめについて (4)市民集会のテーマについて
11月15日	臨時役員会	(1)市民集会のテーマについて
11月18日	第6回運営委員会	(1)「コミセン研究会のまとめ その2」について (2)市民集会のテーマについて (3)部会等の活動報告・協議
12月 2日	臨時役員会	(1)市民集会へ向けた要望事項について
12月16日	第8回役員会	(1)松林コミセンのスケジュールについて (2)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会12月定例会の報告 (3)市民集会の要望書について (4)個別要望書について (5)環境事業センターとの意見交換について
12月23日	第7回運営委員会	(1)市民集会の要望書について (2)個別要望書について (3)環境事業センターとの意見交換について (4)松林コミセンのスケジュールについて (5)部会等の活動報告・協議
令和5年 1月13日	第9回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会1月定例会の報告 (2)松林コミセンに関する意見交換会及び近隣住民説明会 (3)市民集会 (4)個別要望書・環境事業センターとの意見交換
1月20日	第8回運営委員会	(1)市民集会について (2)部会等の活動報告・協議
1月25日	臨時役員会	(1)市民集会について

2月 3日	臨時役員会	(1)監事職の後任について (2)令和5年度定期総会の議案について (3)（仮称）松林地区地域集会施設等複合施設整備懇談会について
2月10日	第10回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会2月定例会の報告 (2)松林コミセンに関する意見交換会及び近隣住民説明会の報告 (3)臨時総会の開催 (4)定期総会に向けた準備 (5)令和5年度収支予算案の組み方
2月17日	第9回運営委員会	(1)松林コミセンに関する意見交換会及び説明会の報告 (2)令和4年度臨時総会の開催（案） (3)令和5年度定期総会に向けた準備 (4)部会等の活動報告・協議
3月10日	第11回役員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会3月定例会の報告 (2)令和5年度から令和8年度までの事業方針 (3)推薦委員の選任
3月17日	臨時総会	(1)役員を選任
3月17日	第10回運営委員会	(1)茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会3月定例会の報告 (2)令和5年度定期総会に向けた準備 (3)令和5年度から令和8年度までの事業方針 (4)推薦委員の選任 (5)部会等の活動報告・協議

## (2) 防災部会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和4年 4月22日	第1回防災部会	(1) 地区防災訓練について (2) 宝くじ助成金による防災資機材購入について (3) その他
5月27日	第2回防災部会	(1) 地区防災訓練の日程について (2) 地区防災訓練の内容について (3) その他
6月24日	第3回防災部会	(1) 地区防災訓練の詳細について (2) その他
7月29日	第4回防災部会	(1) 地区防災訓練の詳細について (2) その他
9月23日	第5回防災部会	(1) 地区防災訓練の詳細について (2) その他

10月28日	第6回防災部会	(1) 地区防災訓練の最終確認について (2) その他
11月23日	第7回防災部会	(1) 地区防災訓練の反省について (2) その他
令和5年 3月24日	第8回防災部会	(1) 来期の地区防災訓練について (2) その他

(3)子ども部会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和4年 4月 9日	子ども部会臨時ミーティング	(1) 今年度のふくろう塾について ・ワークショップ内容決め ・学習サポートボランティアについて ・松林中に協力を依頼し、中学生対象のアンケート調査を計画
4月30日	第1回子ども部会ミーティング	(1) 部会員自己紹介 (2) 4/20 実施、松林中生徒アンケート集計結果報告 (3) 5月からのふくろう塾 食事提供再開に向けて (4) 「かんがるうのぼっけ」について
6月 8日	子ども部会臨時ミーティング	(1) ふくろう塾の予算・事業計画書の見直しについて (2) かんがるうのぼっけ借家 熊谷邸の件 (3) その他
7月30日	第2回子ども部会ミーティング	(1) 下半期の活動について (2) 部会長交代について (3) その他
9月 3日	第3回子ども部会ミーティング	(1) 次期部会長選出について (2) 事務作業の分担について (3) 公民館まつりについて (4) その他
10月19日	第4回子ども部会ミーティング	(1) 新体制について (2) 湘南地区チューチュートレインとの意見交換について (3) 市民集会について (4) 次年度にむけて (5) その他
11月24日	第5回子ども部会ミーティング	(1) 次年度ふくろう塾日程決め (2) 市民集会について (3) 湘南地区チューチュートレインとの意見交換日程 (4) その他
令和5年 2月 4日	第6回子ども部会	(1) 市民集会報告

	ミーティング	(2) ふくろう塾体験会について (3) かんがるうのぽっけ 食事提供について (4) 子ども会との意見・情報交換会実施にむけて (5) 次年度運営体制について (6) その他
3月11日	第7回子ども部会 ミーティング	(1) 次年度事業計画、予算打ち合わせ

#### (4)福祉部会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和4年 5月17日	第1回福祉部会	(1)コロナ禍での各団体の活動や個人の活動の共有 (2)2022年度活動計画具体案の検討
7月12日	第2回福祉部会	(1) コロナ禍での各団体の活動や個人の活動の共有 (2)福祉部会サロンに向けての検討
9月13日	第3回福祉部会	(1)「第1回福祉部会サロン」意見交換 (2)「第2回福祉部会サロン」開催に向けて
11月15日	第4回福祉部会	(1)「第2回福祉部会サロン」意見交換 (2)「第3回福祉部会サロン」開催に向けて
令和5年 1月17日	第5回福祉部会	(1)「第3回福祉部会サロン」意見交換 (2)2023年度活動計画・予算の検討
3月14日	第6回福祉部会	(1)「第4回福祉部会サロン」意見交換 (2)2022年度活動報告・決算報告及び2023年度活動計画・予算(案)の検討

#### (5)広報部会

実施日	会議の名称	主な内容等
令和4年 5月20日	部会全体会議	(1)前期決算の確認 (2)令和4年度予算と事業(行動)計画について確認 (3)松林地区内の今期の行事予定について情報交換 (4)HPの更新について情報交換
8月19日	定例会	(1)防災訓練に関する広報部会の取組について確認 (2)見てもらうHPから使ってもらうHPへの検討
10月15日	定例会	(1)防災訓練のポスター発行・配布(地区内120ヶ所)
11月18日	定例会	(1)防災訓練の取材体制について確認 (2)市民集会に関する広報部会の取組について確認
12月20日	定例会	(1)市民集会のポスター発行・配布(地区内120ヶ所)
令和5年 1月20日	定例会	(1)松林タイムス11号の編集企画会議
3月17日	定例会	(1)今期事業報告と収支決算の確認 (2)来期事業計画と収支予算の検討

		(3) 松林タイムス 11 号の発行・配布（地区内 9,000 部）
--	--	------------------------------------

(6) 環境部会

実施日予定	会議の名称	主な内容等
令和 4 年 5 月 12 日	第 1 回定例部会	(1) 環境部員自己紹介 (2) 令和 4 年度活動予定について ・活動計画・予算 (4) その他
7 月 7 日	第 2 回定例部会	(1) コンポストによる生ごみリサイクルについて (2) 9 月寒川リサイクルセンター見学について (3) その他
9 月 8 日	第 3 回定例部会	(1) 寒川広域リサイクルセンター見学振り返り (2) 環境事業センターとの交流会にむけて
11 月 10 日	第 4 回定例部会	(1) 環境事業センターとの交流
令和 5 年 1 月 12 日	第 5 回定例部会	(1) ごみの減量化について (2) 公民館まつりにについて
3 月 9 日	第 6 回定例部会	(1) R 4 年度総括 (2) 公民館まつりにについて

(7) コミセン研究会

実施日予定	会議の名称	主な内容等
令和4年 6月30日	第22回コミセン研究会	(1)コミセン研究会のチーム編成 1、2班→コミュニティセンター等への情報収集 3班 →子育て世代への情報収集 (2)コミュニティセンター等への情報収集について (3)子育て世代への情報収集について
7月 6日	3班 第1回会議	(1)3班の役割と目標 再確認 (2)子育て世代の方々にどんなことを尋ねるか (3)アンケートする対象は、松林地区の幼稚園児と 保育園児の保護者を想定するが、その他は (4)電子的な方法でアンケートを実施したいが、今 回使えそうなツールは何 (5)作業工程ごとの時間軸の検討
7月 8日	1・2班 第1回会議	(1)1班・2班の目的を確認 (2)コミュニティセンターとは、地域包括支援セン ターとは、ボランティアセンターとは (3)ヒアリングの対象とスケジュール (4)具体的な質問内容
7月21日	3班 第2回会議	(1)子育て世代のアンケート内容の具体案を検討 (2)電子的方法の具体案を検討 (3)保育園、幼稚園へ、アンケート調査依頼文の文案 を検討 (4)今後の予定
7月26日	1・2班 第2回会議	(1)コミュニティセンターへの質問を確認
8月 1日	3班 第3回会議	(1)保育園等の保護者へのアンケート依頼文の確認
8月25日	1・2班 第3回会議	(1)1・2班の活動目的の再確認 (2)1・2班内での意見交換・班としての意見提出 (3)1・2班としての意見発表 (4)各意見をどのように取り扱うべきかを検討
8月30日	1・2班 第4回会議	(1)最終的な目標を確認 (2)1・2班としての意見発表・質疑応答 (3)発表後に相反する内容が無かったかの確認 (4)まとめる部分を確認
9月21日	3班 第4回会議	(1)コミセン研究会3班のまとめ（報告）
10月27日	第23回コミセン研究会	(1)松林コミセン研究会1・2班の発表 (2)松林コミセン研究会3班の発表 (3)今後の流れ
11月21日	市長両副市長へ提出	(1)コミセン研究会のまとめ その2 の提出

## 2 事業の実施

区分	実施主体	実施日	事業の名称
主催	子ども部会	通年	子育て世代の居場所づくり事業「かんがるうのぼっけ」
主催	子ども部会	通年	中学生の学習支援と夕食支援事業「ふくろう塾」
主催	防災部会	11月23日	地区防災訓練（松林中学校）
主催	コミセン研究会	8月17日 8月19日 8月23日	各地域集会施設（コミュニティセンター）への視察（鶴嶺東、松浪、高砂、鶴嶺西）
主催	コミセン研究会		子育て世代へのアンケート調査
主催	広報部会	通年	広報活動事業
主催	福祉部会	通年	サロン事業
共催	福祉部会	通年	歌体操支援事業

### （1）子育て世代の居場所づくり事業「かんがるうのぼっけ」

**概要** 松林地区内の空き家を活用し、子育て世代の居場所づくりを実施した。令和元年度まで実施していた「おむすび松林」では、感染対策を徹底できないことや、コロナ禍で特に子育て世代が家に引きこもりがちになっている現状を考慮し、子育て世代に限定した居場所づくりを実施した。新型コロナウイルス感染対策として、事前予約制とした。

**実施日** 合計10回実施（4月、5月、7月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月）

原則第4月曜日の10時00分～12時00分

※6月は空き家の家主都合により中止となった。

**参加者** 子ども40名、保護者38名、スタッフ40名（延べ合計）、行政等見学者8名  
親子の平均参加組数 4組

**成果** 子育てに疲れ気味の母親が部会員との会話することで笑顔になる様子が見受けられた。また、親同士が交流して会話が弾むなど、居場所としての役割を果たすことができた。子育て経験者の部会員から子育てについてのアドバイスをするなど、子育てに対しても貢献することができた。

**今後** 毎回、安定した参加組数であることから、需要があるという手応えを感じている。次年度から、おむすびとお味噌汁の軽食提供を再開する。ゆっくり食事を摂ることでより良い時間を過ごし、ストレスの少ない子育てが出来るようはたらきかける。

### （2）中学生の学習支援と夕食支援事業「ふくろう塾」

**概要** 松林公民館で、松林・赤羽根・円蔵中学校の1年生、2年生、3年生に対する学習支援を実施しつつ、彼らの居場所としても機能している。参加する生徒には勉強する教材を持参してもらうが、勉強を強制はせず、悩みごとがあれば、その悩みを聞く時間としていた。こうして、自己肯定感を大切にし、前向きに勉強や日々の生活に向き合ってもらえるよう支援してきた。また、中学生が参加しやすくなるきっかけを作ろうと、今年度は松林中にてアンケートを実施した。その結果を踏まえ、2年振りに食事提供を再開し、さらに生徒が調理から参加できるようにもした。『おでかけふくろう塾』として茅ヶ崎市



博物館へ行った。昨年に続きじゃがいもの植え付けと収穫体験も行った。

実施日 合計13回開催（4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月×2回）

原則第1土曜日の16時から20時まで

おでかけふくろう塾・農業体験は午前中開催とした。

成 果 今年度より、調理から生徒が参加できるようにしたところ、スタッフとのコミュニケーションがより良好になった。料理に興味湧き、自宅でも作るようになった生徒もいる。

今 後 水・土曜日の月2回開催に戻し、平日部活帰りの生徒や週末は来れない生徒も参加しやすいようにする。学習支援者との交流も深めていき、学習面とメンタル面をサポートしていく。円蔵、赤羽根中からも参加者が集まるよう、引き続きチラシを配布する。

達成状況 参加人数はコロナ禍以前より減っているが、事業再開からずっと通っている生徒がいる。居場所や親以外の身近な大人の存在の必要性を改めて感じた。食材の余りほぼ無し。

参加者 下表を参照。

参加者一覧(中学生の学習支援と夕食支援事業「ふくろう塾」)

実施回数	実施日	中1	中2	中3	小学生 未就学	合計	スタッフ	食事提供集会 額 (大人食事代)	メニュー 備考
1	4/9	0	1	0		1	7		臨時ミーティング
2	5/14	0	2	0		2	5+2(行政)	1,500	カレー、サラダ
3	6/4	0	2	0	5	7	6+1(保護者)		じゃがいも収穫
4	7/2	0	2	3		5	4	1,200	カレー、ポテサラダ
5	8/6	3	2	4		9	3	600	カレー、ポトフ
6	9/3	1	2	0		3	3	600	カレー、コロケ
7	10/1	0	4	0		4	3		茅ヶ崎市博物館見学
8	11/5	1	2	0	1	4	4	1,200	ナン、チキンカレー
9	12/3	1	2	0	3	6	7	1,500	カレー、ケーキ
10	1/8	1	1	0		2	4	1,200	キーマカレー、汁粉
11	2/4	1	3	0		4	6+2(行政)	1,500	カレー、ポテサラ風
12	3/4	1	2	0	2	5	5+1(保護者)	1,200	カツカレー、サラダ
13	3/5	1	2	0	3	6	6+2(保護者)		じゃがいも植え付け
合計		10	27	7	14	58	71	10,500	

### (3) 広報活動事業

#### ① 年次版「松林タイムス」発行

概 要 令和元年以来の開催となった松林地区市民集会の記事を中心に A3 表裏に編集し地域内全戸および地区内の公立小中学校教職員に配布した。

発行日 令和5年3月31日

## ②ホームページでの情報発信

概要 茅ヶ崎まちぢから協議会連絡会が主管するホームページをポータルサイトとして、松林地区まちぢから協議会のホームページをトップに、まち協傘下組織(自治会や部会等)が発信するホームページを管理している。また、松林地区まちぢから協議会の主な行事の要旨を発信した。

実施時期 年間を通し随時

## (4) サロン事業 (福祉部会)

概要 松林公民館の講義室を借り、隔月開催(4回)を実施した。コロナ禍で今まで各地域で開催されていたサロンが実施できなくなっている中で、福祉部会として何かできないか、検討を行い開催した。今後も参加者と一緒に楽しい場所になるように努めていきます。各自治会に協力を得て、毎回自治会員の皆様に回覧を回して頂き、直接申し込みをして頂きました。

第1回参加者(12名) 第2回参加者(10名) 第3回参加者(13名)

第4回参加者(17名)

## (5) 歌体操支援事業

概要 茅ヶ崎市主催で上赤羽根自治会館、小桜町防災倉庫の会議室、ショクサンビラ自治会館の松林地区3か所の歌体操教室が開催されている。部会員が指導役として参加しつつ、のぼり旗の設置などの支援を行った。運動することにより身体活動量の増加と共に、コミュニケーションにより地域住民の交流が行われている。コロナ禍で感染予防を行いながら、多くの方の参加がありました。

## (6) 防災訓練

概要 11月23日(水) 午前中 自治会自主防災組織ごとに安否確認訓練を実施(別日に実施した組織を含む)しました。安否の確認は、玄関前にプレートに掲示するなど方法は様々で、拠点で集約した確認結果をデジタル無線機で松林中学校に設置した防災本部に報告しました。定期的の実施しているロールコール訓練を実施しているため、取扱いは慣れており非常にスムーズでした。

午後は松林中学校を会場に防災倉庫の見学、起震車・濃煙体験、自然災害体験車及び降雨体験車を体験しました。また、災害時におけるペットの避難ブースにて避難時に必要な対策を学びました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加人数を限定しての実施でしたが、各自主防災組織の防災意識の向上につながりました。

(参加人数70名)

## (7) 各コミュニティセンターへの視察

概要 コミセン研究会(1・2班)の活動の一環として、鶴嶺東コミュニティセンター高砂コミュニティセンター、松浪コミュニティセンター及び鶴嶺西コミュニティセンターへ視察を行い、主に施設を管理運営する立場から、どのような運営がされているのかを学ん

だ。倉庫や事務室等のスタッフが利用するエリアについての現状や、扉や網戸等、維持管理を行う視点からの説明を受けた。どのコミュニティセンターでも、実際に「見て」、「聞いて」初めて知ることが多く、「コミセン研究会のまとめ その2」の内容を実状に即したものにするため、大変有意義な視察研修となった。

#### (8) 子育て世代へのアンケート調査

概 要 松林コミセンについての実施設計レベルの要望書を作成するにあたり、まちぢから協議会の運営委員会に意見を反映しづらい世代からも意見を募るため、松林コミセン研究会3班がアンケート調査を実施しました。具体的には未就学児の子育て世代を対象にアンケート調査を実施し、すみれ幼稚園、室田保育園、湘南くすの木保育園及び茅ヶ崎駅北口子育て支援センターにご協力いただきました。延べ140名から回答をいただき、「松林コミセン研究会のまとめその2」の内容へ大いに反映することができました。

### 3 その他の取り組み

#### (1) 茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づく認定申請に関すること

令和4年度第1回茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会に活動状況を報告し認定基準に適合していることが確認され、今後の取組みへの助言を得た。

令和４年度 松林地区まちぢから協議会収支決算

収入の部

項 目	予算額	決算額	内 訳
補助金	819,720	2,479,720	運営費等助成金 2,150,000円 防災訓練補助金 0円(未申請) 特定事業助成金①（ふくろう塾） 96,720円 特定事業助成金②（おむすび松林） 129,000円 特定事業助成金③（広報活動事業） 104,000円
参加費	13,500	10,500	ふくろう塾(食事代) 10,500円
拠出金	80,000	0	松林地区自治会連合会から防災訓練費用(事業中止・未申請)
合 計	913,220	2,490,220	

支出の部

項 目		予算額	決算額	内 訳
運 営 費	【本部】	129,000	75,932	
	事務消耗品費	17,000	3,207	プリンターインク
	会議費	34,500	19,000	会場使用代
	物品費	20,000	0	
	市民集会費	0	0	
	視察研修費	45,000	0	
	印刷製本費	10,000	53,725	コピー代等
	予備費	2,500	0	
	【子ども部会】	13,000	5,780	コピー代等
	【福祉部会】	31,000	17,053	コピー代等
	【広報部会】	22,000	8,454	パソコンセキュリティソフト
	【環境部会】	20,000	3,570	プリンターインク等
	【防災部会】	35,000	1,906,828	コミュニティ助成事業を活用した防災資機材整備等
	小計	250,000	2,017,617	
防 災 訓 練 事 業 費	防災訓練用品費	25,000	0	事業を中止
	消火器訓練備品費	5,000	0	
	救護搬送訓練備品	10,000	0	
	給食訓練用食材他	100,000	0	
	防災拠点訓練用備品費	95,000	0	
	避難訓練討議備品費	10,000	0	
	参加者用用品費	75,000	0	
	その他	0	0	
	小計	320,000	0	
(特定事業費①)	消耗品費	15,000	0	
	材料費	54,000	31,914	食材
	イベント費	10,000	5,829	バス代等
	印刷製本費	16,200	12,436	コピー代等
	物品費	5,000	6,955	用紙代等
	予備費	10,020	0	
	小計	110,220	57,134	
る②(特定事業費②)	賃借料	110,000	100,000	会場賃借料10,000円×10回開催
	印刷製本費	4,000	200	コピー代
	消耗品費	5,000	15,521	アルコール除菌液、トイレクリーナー等
	予備費	10,000	0	
	小計	129,000	115,721	
(特定事業費③)	印刷製本費	86,519	70,686	全戸配布A4版「松林タイムス」9,500部を1回
	通信運搬費	3,000	0	
	物品費	5,000	0	
	研修費	3,000	0	
	予備費	6,481	0	
	小計	104,000	70,686	
市への返還金		0	229,062	
合 計		913,220	2,490,220	

## 令和５年度事業計画

- 1 茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に係る事務に関すること
  - (1) 条例に基づく各種提出書類の作成事務
  - (2) 認定コミュニティ助成金（運営費等助成金、特定事業助成金）の交付申請に関する事務
- 2 協議の場の創出に関すること
  - (1) 部会等の開催
    - ア) 子ども部会  
青少年育成・人的交流を創出するための協議の場の運営
    - イ) 防災部会  
災害対策・防災力向上に関する協議の場の運営
    - ウ) 福祉部会  
誰もが安心して暮らせる地域社会を創出するための協議の場の運営
    - エ) 広報部会  
松林地区の情報を発信するための協議の場の運営
    - オ) 環境部会  
生活環境の向上に関する協議の場の運営
    - カ) コミセン研究会  
松林コミセンの研究に関する協議の場の運営
  - (2) 部会の設置に向けた検討
    - ア) 地域の安全安心に関する部会の設置に関すること
  - (3) その他、住所を有するすべての個人に参加機会を提供するための取り組み
- 3 協議会の周知及び広報に関すること
  - (1) 松林地区まちぢから協議会ウェブサイトの管理運営に関すること
    - ア) 運営委員会議事録を記事に仕立て、発信する
    - イ) ホームページの運用を広報部会に任せたい自治会や組織に対応する
    - ウ) 地区内各団体の年間行事予定を共通フォーマットに記入し、ホームページ等を用いて、その周知を図る
    - エ) 地区内での主なイベントに多くの人々が参加するよう働きかける
  - (2) その他、松林地区まちぢから協議会に関する広報活動の実施及び企画
    - ア) 市民集会、地区防災訓練、地区運動会、福祉バザー、餅つき大会の PR ポスターを作成し自治会管轄掲示場所（約１２０ヶ所）に掲示する

- イ) 上記ア) で PR したイベントについて、事後報告としてイベントの様子をホームページや「松林タイムス」に掲載し発行する
- ウ) 情報発信ツールとしての SNS 関連技術研修会の開催

#### 4 事業に関すること

##### (1) 青少年育成・人的交流に関すること

- ア) ふくろう塾（中学生の学習支援と夕食支援事業）の実施
- イ) かんがるうのぼっけ（子育て世代の居場所づくり事業）の実施
- ウ) 松林地区の子ども会との情報交換の実施

##### (2) 災害対策・防災力向上に関すること

- ア) 防災訓練の実施

##### (3) 誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に関すること

- ア) 新たな居場所・サロン（通える場所）創出のための支援を行う
  - 目標：通える場所を増やそう
  - 福祉部会が行うサロン（通いの場）活動
- イ) 健康寿命を延ばす
  - 目標：運動（動ける）場所を増やそう
  - 歌体操教室の実施支援
- ウ) 新たな移動手段の検討
  - 目標：もう一度笑顔をみられるように
  - 移動支援の取り組み

##### (4) 生活環境の向上に関すること

- ア) 地区内のゴミ集積所の改善
- イ) ごみの減量化
  - ・ごみの分別、リサイクル化の推進で一般ごみの減量の検討
  - ・コンポストを使用した生ゴミのたい肥化の検討

##### (5) その他、事業に関すること

- ア) 市民集会の開催手法の検討及び開催
- イ) 視察研修の実施      ほか
- ウ) (仮称) 松林地区地域集会施設等複合施設整備懇談会への参加

令和 5 年度 松林地区まちぢから協議会収支予算

収入の部

項 目	前年度決算額	予算額	内 訳
補助金	2, 479, 720	766, 500	運営費等助成金 250, 000円 防災訓練補助金 240, 000円 特定事業助成金①（ふくろう塾） 43, 500円 特定事業助成金②（おむすび松林） 129, 000円 特定事業助成金③（広報活動事業） 104, 000円
参加費	10, 500	4, 300	レジン工作及び革細工の受益者負担分及び食事代300円×10人（中学生以外から集金）
拠出金	0	80, 000	松林地区自治会連合会から防災訓練費用
合 計	2, 490, 220	850, 800	

支出の部

項 目		前年度決算額	予算額	内 訳
運 営 費	【本部】	75,932	129,000	
	事務消耗品費	3,207	17,000	コピー用紙、ラミネートシート、物品購入費等
	会議費	19,000	34,500	会議会場代、まちぢから協議会連絡会会費等
	物品費	0	20,000	デジタルカメラ購入等
	市民集会費	0	0	会議資料等印刷代
	視察研修費	0	45,000	
	印刷製本費	53,725	10,000	
	予備費	0	2,500	
	【子ども部会】	5,780	13,000	切手代等
	【福祉部会】	17,053	31,000	文房具等
	【広報部会】	8,454	22,000	プリンターインク等
	【環境部会】	3,570	20,000	ラミネートフィルム等
	【防災部会】	1,906,828	35,000	コピー代等
	小計	2,017,617	250,000	
防 災 訓 練 事 業 費	防災訓練用品費	0	25,000	ブルーシート
	消火器訓練備品費	0	5,000	火源木材、電源延長コード
	救護搬送訓練備品	0	10,000	ポリ袋、サランラップ
	給食訓練用食材他	0	100,000	食材、備品、プロパンガス
	防災拠点訓練用備品費	0	95,000	防災無線、掲示板
	避難訓練討議備品費	0	10,000	討議パネル、筆記用具
	参加者用用品費	0	75,000	タオル、子供用非常笛
	小計	0	320,000	
特 定 事 業 費 ① （ふくろう塾）	消耗品費	0	10,000	消毒用品、プリンタインク等
	材料費	31,914	8,600	レジン工作用のレジン及び革細工用の革
	賃借料	0	10,000	収穫祭 食材6,000円×1回
	イベント費	5,829	0	収穫祭 会場使用料
	印刷製本費	12,436	16,200	開催通知及び配布資料印刷
	物品費	6,955	0	
	予備費	0	3,000	
	小計	57,134	47,800	
特 定 事 業 費 ② （ふくろう塾）	賃借料	100,000	110,000	会場使用料
	印刷製本費	200	4,000	開催通知発行代
	消耗品費	15,521	5,000	除菌用品等
	予備費	0	10,000	
	小計	115,721	129,000	
特 定 事 業 費 ③ （広報活動事業）	印刷製本費	70,686	88,324	全戸配布A4版「松林タイムス」9,500部を1回 全戸配布A3版「松林タイムス」9,500部を1回 ポスター200枚を4回
	通信運搬費	0	3,000	切手代等
	物品費	0	5,000	参考書、会議資料代、インク代等
	研修費	0	3,000	外部セミナー参加費（サポートセンターの講座等を予定）
	予備費	0	4,676	
	小計	70,686	104,000	
市への返還金		0	0	
合 計		2,261,158	850,800	

## 特定事業の概要（松林地区・ふくろう塾）

松林地区まちぢから協議会では、平成26年夏から、松林地区における地域課題を話し合うなかで、とりわけ多くの意見があがった「子どもの居場所」に関する課題を解決するための取り組みとして、地域が協力し合い事業を実施している。

### （１）事業の概要

公民館の和室や会議室等を利用し、思春期を迎えている中学1～3年生に対する学習支援を実施している。また、生徒の悩みを聞きアドバイスを行うなど、前向きに勉強や日々の生活に向き合ってもらえるよう支援することで、生徒の居場所としても機能している。

令和4年度からは、コロナ禍で中止していた食事支援を2年ぶりに再開している。

### （２）事業のねらい

- ・学校や家庭に居場所の無い子の第3の居場所となり、子どもの孤立を防ぐ
- ・地域の大人と関わることで孤立しないようにする
- ・学習支援を通じて、学習意欲の向上を図る
- ・大人の主体性を大切にする
- ・子どもに対する理解を深める

### （３）令和4年度実績

13回開催し、参加者数は延べ人数44人（中学生合計）で、1回あたりの平均人数は3.4人であった。

コロナ禍で中止していた食事支援を2年ぶりに再開することができた。更に、参加しやすくなるきっかけを作るため、生徒が調理段階から参加できるようにしたほか、「おでかけふくろう塾」として茅ヶ崎市博物館での課外活動も行った。また、昨年に続きじゃがいもの植え付けと収穫体験も行った。

回を重ねるごとにスタッフと仲良くなり、楽しんで参加する生徒の様子が見られたこと、自身の悩みを打ち明けてくれるようになったことなどから、家庭でも学校でもない第3の居場所として機能しており、事業目的の達成につながっていると考察している。また、調理体験を通じて、料理に興味を湧き、自宅でも作るようになった生徒も見受けられた。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中学生が抱える悩みもこれまでに増して多様化していると想像できる。その悩みの中には、家族や学校の先生には話づらいこともあると思われる。これまでもボランティアの方々が中学生と信頼関係を築き、相談に乗っていることは多々あった。今後も「ふくろう塾」が悩みを抱える中学生対し、学習面で支えるだけでなく、心の支えとしても機能していくことを期待する。



## 特定事業実施報告書（松林地区・ふくろう塾）

事業の実施内容	活動内容	中学生の学習支援と夕食支援事業(5月より夕食支援を再開した)		
	活動期間	令和4年5月1日～令和5年3月31日		
	実施体制	松林地区まちぢから協議会 子ども部会	周知方法	松林中学校、円蔵中学校、 赤羽根中学校へ掲示、配布
	参加者数	中学生 44人 小、未就学 14人 スタッフ 63人 (部会員+ボランティア)  合計 121人	実施日	4月9日、5月14日、 6月4日、7月2日、 8月6日、9月3日、 10月1日、11月5日、 12月3日、1月8日、 2月4日、3月4日、 3月5日 合計13回
事業の目的や効果は達成できましたか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍前の参加人数には戻らないが、事業の目的は達成できている。</li> <li>・回を重ねてスタッフと仲良くなり、楽しんで参加する生徒の様子を見て「ふくろう塾」は家庭でも学校でもない第3の居場所として、生徒の自己肯定感を高めることに繋がったと感じた。</li> <li>・野外活動に行った際は、部活を辞めてしまった話をしてくれた生徒に対し、自主練を頑張っているとの会話から、そうやって続けることの凄さや高校で「またチャレンジ出来たら良いね」とアドバイスした。そういった話を打ち明けてくれるようになったことが、居場所としての役割を果たしている証だと考える。</li> <li>・カレー作りでは、包丁を持ったことがなかった生徒が、今では慣れた手つきで次々と野菜を切る姿も見られるようになった。祖父母にお味噌汁を作ってあげた話をしてくれた生徒もいた。スタッフに簡単なメニューを聞いてくることもあり、料理話に花が咲くこともしばしばある。悩みを抱えていてもこのように、家庭でも学校でもない場所だからこそ、話せることもあると強く感じている。</li> <li>・野外活動や調理を新たに取り入れたことにより、毎回参加するようになった生徒がいる。</li> </ul>		
事業を計画的に実施することができましたか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・松林中生徒にアンケートを実施し、その結果を踏まえて5月から事業内容をコロナ禍前に戻し、夕食支援を再開した。</li> <li>・野外活動を計画、事前予約制とし、集まった生徒4名とスタッフ3名で、茅ヶ崎市博物館へ行った。</li> <li>・年度末に小学6年生を対象とした『ふくろう塾体験会』を開催した。</li> <li>・開催通知文の配布、学校掲示用カラーチラシ作成、教員用チラシ配布を行った。</li> </ul>		

予算計画や予算配分は適正でしたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出があったものについては、概ね適切だった。今年度から夕食支援を再開した。月1回、カレーと副菜というメニューにした。</li> <li>・印刷物については、極力両面印刷にするなどして工夫した。</li> </ul>
事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにアンケートを取り、今後何をしてみたいと思っているのか調査を行った。</li> <li>・子どもたちから野外活動の希望があったので、どこかで実施予定。ゴミ拾いなど地域ボランティアへの参加希望も多く、海岸清掃など計画予定。</li> <li>・部会議に小、中学校の保護者も参加した際、学校の様子を直接聞くことができ、課題の多さを知ることが出来た。</li> </ul>
一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で休止していた夕食支援を再開出来たこと、参加生徒の喜ぶ顔が見られたことに、スタッフも大きな喜びを感じた。</li> <li>・今できることを続けようと、みんなで知恵を出しあい開催できていることで、やりがいを感じている。</li> </ul>
事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方のご好意で、じゃがいもの植え付け及び収穫をすることが出来た。この事業への協力をきっかけに、顔の見える関係が広がっています。</li> <li>・学校のイベントを通してふくろう塾の存在を知り、部会員となって一緒に活動してくれる仲間が増えた。</li> </ul>
課題と今後の展望について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度はコロナ禍以前の月2回開催に戻し、水曜日カレー・土曜日お楽しみメニューとする。それに伴い、フードバンクへの登録をし、食材ロスや費用軽減に努める。</li> <li>・活動内容を生徒たちに伝えて(ふくろう通信配布)、居場所として1人でも多く利用してもらえるようにする。</li> <li>・コロナ禍で中学校との連携が上手く取れない状況だったので、居場所が必要な生徒にもっと参加してもらえるよう、学校と更に協力していきたい。</li> <li>・じゃがいもの収穫体験等、普段のふくろう塾とは異なる切り口でお声かけし、ふくろう塾を知ってもらうきっかけとなるイベントも継続して実施します。</li> </ul>

おでかけふくろう塾(野外活動で茅ヶ崎市博物館へ)



クリスマスのデザート作り



令和4年度最後のふくろう塾では令和3年度に引き続き、じゃがいも植え付け体験を行いました。前日のふくろう塾体験会に参加した小学6年生と一緒に、5<sup>㍉</sup>分の種芋を植えました。収穫は6月頃の予定で、来年度事業での収穫体験を予定しています。



令和4年度 ふくろう塾実績

実施回数	実施日	参加者(人)					スタッフ(人)	食事提供 集金額(円)	メニュー	備考
		中1	中2	中3	小学生 未就学児	合計				
1	4月9日	0	1	0		1	7			
2	5月14日	0	2	0		2	5	1,500	カレー・サラダ・杏 仁豆腐	食事提供&学習、市から2名参加
3	6月4日	0	2	0	5	7	6			じゃがいも掘り、保護者1名参加
4	7月2日	0	2	3		5	4	1,200	カレー・ポテトサラ ダ・パイナップル	食事提供&学習
5	8月6日	3	2	4		9	3	600	カレー・ポトフ・ヨー グルト	学習支援高田自治会長参加
6	9月3日	1	2	0		3	3	600	カレー・コロッケ・ きゅうり和え物・梨	食事提供&学習
7	10月1日	0	4	0		4	3			茅ヶ崎市博物館見学
8	11月5日	1	2	0	1	4	4	1,200	ナン・バターチキン カレー・ポトフ	食事提供&学習
9	12月3日	1	2	0	2	5	7	1,500	クリスマスカレー・ 小松菜和物・ジャ ガイモガレット・ ケーキ	米・小松菜・ラディッシュ→寄付 食事提供&学習
10	1月8日	1	1	0		2	4	1,200	キーマカレー・ブ ロッコリー・おしる こ	食事提供&学習
11	2月4日	1	3	0		4	6	1,500	チキンカレー・カリ カリベーコンポテト サラダ風・いちご	食事提供&学習&百人一首大会 市から2名参加
12	3月4日	1	2	0	2	5	5	1,200	カツカレー・サラ ダ・フルーツヨーグ ルト	小学6年生体験会、保護者1名参加
13	3月5日	1	2	0	3	6	6			じゃがいも種いも植え付け 保護者2名参加
合計		10	27	7	13	57	63	10,500		

## 収支決算書

### 収入

科 目	予算額	決算額	内 訳
補助金	96,720	96,720	認定コミュニティ特定事業助成金
参加費	13,500	10,500	食事代 300円×35名分(中学生以外から集金) 夕食支援 9回開催
計	110,220	107,220	

### 支出

科 目	予算額	決算額	内 訳
消耗品費	15,000	6,955	除菌用品、手袋、マスク、洗剤、ゴミ袋等
材料費	54,000	31,914	食事支援の食材、種芋
イベント費	10,000	5,829	おでかけふくろう塾交通費、生徒食事代
印刷製本費	16,200	12,436	開催通知及び配布資料印刷
物品費	5,000	0	
予備費	10,020		
市への返還金		50,086	
計	110,220	107,220	

\*対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来る必要があります。

\*見積書に相当する資料を添付してください。

## 特定事業の概要（松林地区・かんがるうのぽっけ）

松林地区まちぢから協議会では、平成26年夏から、松林地区における地域課題を話し合うなかで、とりわけ多くの意見があがった「子どもの居場所」に関する課題を解決するための取り組みとして、地域が協力し合い事業を実施していた。「多世代の交流の場」としても機能するようになってきたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、「子育て世代」にフォーカスした居場所づくりとして再スタートを切った。

### （１）事業の概要

地域の空き家（民家）を利用して、子育て世代の居場所を提供している。子育て世代が子どもを自由に遊ばせつつ、子育ての悩みについて子ども部会員に相談したり、子育て世代同士が知り合ったりする場所として機能している。令和元年度までの「おむすび松林」とは異なり、軽食の提供は取り止め、参加人数についても毎回親子5組までに限定して実施している。

### （２）事業のねらい

- ・子育て支援（孤立感を取り除く、子育て世代の居場所づくり）を行う
- ・情報提供や相談の窓口となる

### （３）令和4年度実績

合計10回開催し、親子の参加組数は延べ38組で、平均3.8組の参加であった。新型コロナウイルスの影響で特に外出を控えていると思われる子育て世代にとっては、貴重な居場所として機能することができた。

参加者は、「息抜きできる場所」、「相談に応じてもらえる場所」、「ママ友を作れる場所」など様々な認識を持っているが、感謝の言葉をいただくことも多くあり、参加者の満足具合を推察することができた。

次年度から、おむすびとお味噌汁の軽食提供を再開する予定となっているが、ゆっくり食事を摂ることにより良い時間を過ごし、ストレスの少ない子育てが出来るよう働きかけを行っていただきたい。

# 特定事業実施報告書（松林地区・かんがるうのぽっけ）

事業の実施内容	活動内容	地区内の空き家を利用し、子育て世代向けの居場所を運営する。子育て中の親子への支援、子育て世代同士の交流等を行う。		
	活動期間	令和4年4月25日～令和5年3月31日		
	実施体制	松林地区まちぢから協議会 子ども部会	周知方法	自治会回覧、松林公民館、小和田地区コミュニティセンターへの配架等
	参加者数	子ども（幼児） 40人 大人（保護者） 38人 スタッフ 40人 合計 118人 ＊行政等見学者 8人	実施日	4/25、5/23、7/25、9/26 10/24、11/28、12/26、 1/23、2/27、3/27 合計10回 ＊6月は中止
事業の目的や効果は達成できましたか		<p>①子育て支援（孤立感を取り除く、地域の居場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに疲れ気味の母親が、スタッフとの会話で笑顔になった。</li> <li>・かんがるうのぽっけで知り合い、交流が始まった人がいた。</li> </ul> <p>②地域ニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧板を見て参加する人が増えている。</li> <li>・孤育てにならないように、人とのつながりを求めているように感じる。</li> </ul> <p>③情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会回覧、まちぢから協議会 HP 等を通じて活動紹介を行っている。</li> </ul> <p>④相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会員の中に民生委員児童委員が参加している。</li> </ul> <p>若い母親は、今回の新型コロナ感染防止による対策で、子育て世代同士の交流もないまま出産・育児となっていると聞いている。情報交換の場を提供できたことで、出産までにできなかったことをし、参加者の皆さんに喜んでいただけた。かんがるうのぽっけ事業開始当初からの参加者の1人が、九州にお引越しが決まったそうだが、ここで出来たママ同士の繋がりは一生ものと話してくれた。今後も良い関係が続いていくことは嬉しい。</p>		
事業を計画的に実施することができましたか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画で11回開催予定のところ、10回開催。（6月家主都合により中止）</li> <li>・1回あたりの参加者は5組限定、感染防止対策として事前申し込み制にした。</li> <li>・1回の平均参加組数は4組だった。</li> <li>・確実に参加者が増えているので、子育て世代の『居場所』として定着し始めていることがわかる。</li> </ul>		
予算計画や予算配分は適正でしたか		<p>概ね適正だった。</p> <p>支出についての予算と実績の比較は次のとおりである。</p> <p>① 印刷製本費 予算 4,000 円／決算 4,036 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷費は松林公民館の印刷機を使用し、低価格に抑えることができた。</li> <li>・開催通知を3ヶ月分まとめて出すことで、利用者が日程を確認して申し込みし</li> </ul>		

	<p>やすいようにした。</p> <p>② 賃借料 予算 110,000 円／決算 100,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ月 1 回、予定通り行うことができた。</li> </ul> <p>③ 消耗品費 予算 5,000 円／決算 11,685 円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除菌用品、手袋、掃除用品、ジョイントマット等を購入。</li> </ul>
事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者への意見聴取のほか、松林地区まちぢから協議会の会議で各種団体に意見聴取を行った。</li> <li>・松林公民館で実施している子育てサロンのチラシを参加者に配布し、相互利用し易いように努めた。</li> </ul>
一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度も参加してくれる親子もいて、子供の成長をひと月ごとに感じる事ができた。</li> <li>・子育て経験者として、相談に乗ることができた。大変やりがいを感じる事ができた。</li> </ul>
事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でなかなか外出し辛く、孤立しがちな親子に交流の場を提供したことで、地域コミュニティを豊かにしていく手助けが出来たのではないと思う。</li> <li>・部会ミーティングに参加した小学校 PTA 役員から、スタッフとしての参加があった。</li> </ul>
課題と今後の展望について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からは月 2 回の開催とし、念願だった食事提供を始める。</li> <li>・おにぎりとお味噌汁を 1 食 200 円で提供する。</li> <li>・物価の高騰により 1 食 200 円での運営は難しいかもしれないが、フードバンクに登録し、尚且つ地域から食材の寄付を募ることで乗り切りたい。</li> <li>・食事作りのボランティアスタッフを募集するにあたり、『おむすび松林』のボランティアスタッフに声掛けをする。</li> </ul>

#### 令和4年度 かんがるうのぽっけ実績

実施回数	実施日	参加人数(人)				備考
		子ども	大人	合計	スタッフ (部会員+ボランティア)	
1	4月25日	2	2	4	3	1歳9ヶ月男児・10ヶ月女児
2	5月23日	6	5	11	3	市民自治推進課担当、会長見学
3	6月27日					家主都合で中止
4	7月25日	2	2	4	3	8ヶ月男児・女児
5	9月26日	2	2	4	4	1歳女児・6ヶ月女児
6	10月24日	4	4	8	6	7ヶ月女児・1歳女児3名/6年生1名参加
7	11月28日	4	4	8	5	9ヶ月女児・1歳女児・2歳男児 除菌シート用意
8	12月26日	3	3	6	4	ジョイントシート用意
9	1月23日	4	4	8	3	
10	2月27日	6	6	12	5	次年度に向けて備品チェック完了、茅ヶ崎市 社会福祉協議会等から6名見学
11	3月27日	7	6	13	4	1歳女児2名・1歳男児2名・2歳男・3歳男・6歳 女/6年生
合計		40	38	78	40	



## かんがるうのぼっけの様子



歩く練習を楽しそうにする赤ちゃん



仲良く遊ぶ様子

スタッフといたいいないバアする楽しいひととき\_\_\_\_\_。



## 収支決算書

### 収入

科 目	予算額	決算額	内 訳
補助金	129,000	129,000	認定コミュニティ特定事業助成金
計	129,000	129,000	

### 支出

科 目	予算額	決算額	内 訳
賃借料	110,000	100,000	1回10,000円×10回
印刷製本費	4,000	4,036	開催通知の発行代(自治会回覧) 開催通知は3回分を1枚にまとめて通知
消耗品費	5,000	11,685	除菌用品、ジョイントマット等
予備費	10,000		
市への返還金		13,279	
計	129,000	129,000	

\*対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来る必要があります。

\*見積書に相当する資料を添付してください。

## 特定事業の概要（松林地区・広報活動事業）

松林地区では、松林地区まちぢから協議会（以下、協議会と略す）が発足してから様々な事業活動に取り組んでいる。協議会について、まだ知らない人が見受けられるので、その存在と活動を知ってもらうことを目的に広報活動事業を行っている。合わせて、協議会活動への参加に繋げることで、地区内の顔の見える関係性を構築する一助になることも狙っている。

### （１）事業の概要

次のア、イ、ウの事業について、協議会の広報部会が実施している。

#### ア）ポスターの発行

イベントの開催に合わせPRポスターを発行し、自治会管轄の掲示場所（約120か所）に掲示している。

#### イ）松林タイムスの発行

紙媒体の広報紙（約9,500部）を年1回発行し、松林地区の自治会加入全世帯へ全戸配布している。内容は、市民集会での討議内容等を掲載している。

#### ウ）松林地区まちぢから協議会ホームページの運営

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会内に設けられた協議会のホームページを運営している。市民集会を中心に活動の報告や運営委員会の議事録を掲載している。また、協議会で実施している特定事業である「かんがるうのぽっけ」、「ふくろう塾」の開催状況を掲載し、それらを利用するきっかけになるよう努めている。

### （２）事業のねらい

- ・自分が住む街（地域）で何が行われているかを知ることができる
- ・地域コミュニティへの興味が促され、参加のきっかけを与える
- ・地域への愛着や帰属意識の向上

### （３）令和4年度実績

主な地域のイベントが新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止になったため、ポスターは「防災訓練」と「市民集会」についてのみ作成し、自治会管轄の掲示場所（約120か所）に掲示した。

松林タイムスについては、年次版を1回作成し、地域内の全戸及び地区内の小中学校教職員に配布した。主な内容として、市民集会での討議内容を掲載した。

ホームページについては、協議会の主な行事の要旨を掲載し、発信した。

令和4年度においてもコロナ禍が続き、協議会も従前の活動を出来ない状況が続いていた。しかし、長引くコロナ禍の中で、自治会等が単純に活動を休止するのではなく、工夫して可能な活動を実施している例も多く見受けられた。こうした事例を紹介し、各種団体が継続して活動していくための情報共有を図ったことは意義があることと認識している。

協議会では「かんがるうのぽっけ」や新たな工夫を加えた「ふくろう塾」について人数を制限した上で再開している。こうした事業活動への参加者や担い手を継続的に募集していくためにも、松林地区の全世帯に幅広く周知できる「松林タイムス」の重要性は大きい。また、前年度に引き続き、事業の本格的な再開に合わせて、紙媒体以外の情報発信手段の検討を進めることを期待している。

## 特定事業実施報告書（松林地区・広報活動事業）

事業の実施内容	活動内容	広報紙「松林タイムス」等を通じて、松林地区まちぢから協議会及び関連組織・団体の活動予定や活動報告等を松林地区住民へ情報発信する事業		
	活動期間	令和4年5月1日～令和5年3月31日		
	実施体制	広報部会	周知方法	松林タイムス（全戸配布） ポスター（地区内120ヶ所掲示）
	参加者数	—	実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松林タイムス（1回発行） 3月31日(A3裏表)</li> <li>・防災訓練ポスター掲示10月15日、市民集会ポスター掲示12月20日</li> <li>・ホームページ まちぢから協議会議事録等を随時更新</li> </ul>
事業の目的や効果は達成できましたか		<p>主な地域イベントのうち運動会、福祉バザー、餅つき大会がコロナ感染症拡大防止の観点から中止となったため、イベントPRポスターは防災訓練と市民集会についてのみ作成し、自治会管轄の約120ヶ所に掲示しました。</p> <p>松林タイムスの発行は年次版を1回作成配布しました。主な内容として、市民集会での討議内容を詳細に掲載しました。ホームページは予定どおりの情報を発信することができました。</p>		
事業を計画的に実施することができましたか		<p>コロナ禍の影響で毎月開催予定の部会定例会は6回のみで開催となりました。SNSによる情報発信を具体化する検討は行えませんでした。発信したいコンテンツは何か？という基本構想が煮詰まりませんでした。令和5年度も検討は継続し、特にLINEを用いたプッシュ通知を活用できないか検討します。</p> <p>HPの編集ソフトとして活用しているワードプレスの参考書を使って、部会内の知識の普及を図りました。</p>		
予算計画や予算配分は適正でしたか		<p>コロナ禍の影響で計画していた事業の一部を中止したため予算の約3割強が未消化となりました。</p> <p>予算が余ったとはいえ、余分な経費、不必要な経費を発生させないよう部会全体で緊張感をもって経費管理を行いました。</p>		
事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか		協議会の会議等で自治会長を中心に運営委員から随時の意見聴取をしました。		
一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか		HPのコンテンツ更新や、広報紙の制作場面では、どうしても一部の部会員に作業負担が偏ってしまいましたが、事前事後の打ち合わせで密なコミュニケーションをとりながらメンバー全体がやりがいを感じながら事業に取り組むことができました。		
事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか		今まで自治会単位での活動にとどまっていた人が、当事業の実施により自治会の枠を超えた地域コミュニティに参加するようになりました。新たな担い手発掘という点では厳しい状況（今期中の部会員増員は1名のみ）です。新たな担い手を求める方法論を研究したいと思います。		

<p>課題と今後の展望について</p>	<p>住民が広報紙「松林タイムス」やまち協 HP を、従来よりも注目してくれることを目指したいと思います。露出はしているけど注目度は低いというのが現状と認識し、まちぢから協議会連絡会のホームページ管理運営チームと連携するなどして、住民にとって「知りたいこと」や「興味あること」を取り上げる広報事業を目指します。</p>
---------------------	---

## 収支決算書

### 収入

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
助成金	104,000	104,000	認定コミュニティ特定事業助成金
計	104,000	104,000	

### 支出

科 目	予 算 額	決 算 額	内 訳
印刷製本費	86,519	70,686	全戸配布A3版「松林タイムス」9,000部を1回 59,502円 防災訓練ポスター120部 5,235円 市民集会ポスター120部 5,949円
通信運搬費	3,000	0	
物品費	5,000	0	
研修費	3,000	0	
予備費	6,481	0	
市への返還金		33,314	
計	104,000	104,000	

\*対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来る必要があります。

## 《子ども部会の活動》

子ども部会は子どもに関する団体が集まって、子どもに関する問題や課題を共有し、できることを話し合い活動につなげています。部会員はまちぢから協議会の運営委員会を卒業した部員も継続して残り、一緒に活動しています。また、小学校や中学校とも連携を取り、情報共有できるように努めています。

- ・部会内会議・・・随時（令和5年度からは毎月1回行う予定）
- ・「かんがるうのぼっけ」親子の交流事業 毎月第4月曜日開催
- ・「ふくろう塾」中学生の居場所作り事業 毎月第1土曜日開催（変更あり）
- ・その他、公民館事業や地域の事業に参加



## 《松林小 PTA・室田会・松林中 PTA の携わり方》

- ・まちぢから協議会運営委員会に出席する方1名・・・どの部会に参加するかは自由です。

今年度は子ども部会に所属。子ども部会の部会内会議に参加していただきます。

部会に所属するということは運営委員会に参加する人が活動しなければならない、ということではなく、PTA本部、室田会本部全体で所属するという考え方でいいと思います！

その中で活動できるときに、活動できる人がスタッフとして参加していただければいいと思います

活動に参加する場合はボランティアスタッフとして個人的な参加、自主的な無償奉仕活動との考えでご参加ください。

「かんがるうのぼっけ」や「ふくろう塾」は部会員のほかに地域の方がボランティアとして参加してくださります。

- ・部会内会議に参加し、会議の内容を自分の所属団体に報告、情報はすべて共有していただきます  
また、保護者の皆さんにも活動内容を報告、告知していただき、場合によりボランティア募集など行っていたくこともあります。
- ・各活動の参加はその都度グループラインなどで募集するので、興味関心ある方はぜひ参加してください

## 《今後の活動》

- ・来年度に向けて、「プレふくろう塾」を現6年生対象に計画中（3月に実施できたらと考えています）
- ・来年度から、「ふくろう塾」「かんがるうのぼっけ」とともに実施日を増やす予定
- ・「かんがるうのぼっけ」では以前行っていた軽食（おむすびと味噌汁）の提供を検討
- ・地域の子ども会について考える（交流会の実施など）



子ども部会は「かんがるうのぼっけ」や「ふくろう塾」を実施するだけの部会ではありません。地域の子どもたちがのびのびと生活できる環境をみんなで考えよう！という部会です。

今現在の部会員も各自の所属団体の活動を行い、また、仕事も行いながら協力して活動しています。PTA や保護者の方たちにも興味を持っていただき、地域で一緒に活動できる部会員を増やしていきたいと思っています。

また、保護者の皆さんが参加していただくことによって、新しい視点での活動も広がっていくことができると思います。

まずは一度、「かんがるうのぼっけ」や「ふくろう塾」の活動を見に来てください。

百聞は一見にしかず・・・ですね





# ふくろう塾へ来てみませんか



こんにちは！ふくろう塾とは地域の方がボランティアで運営している中学生の居場所です。  
毎月2回、松林公民館で地域の方が作った夕食を食べたあと、自分がやりたい勉強をします。  
何を勉強するかは自分で決めてOKです！  
提出する数学のドリルや国語の漢字練習をしたり、宿題をしたり・・・。  
わからないところは、地域のボランティアさんが一緒に考えてくれます。  
ときには、学校のことや友達のことなどをお話することもあります。

令和3年度からマイナーチェンジ！

コロナ禍により、内容を少し変えて開催しています。

- ★毎月1回の開催です。
- ★食事提供はお休みしています。
- ★学習の他にワークショップ（体験コーナー）をやっています。



手作りモーターづくり



キャンドルづくり

茅ヶ崎を  
知ろう！

難読漢字  
に挑戦！



じゃがいもの種イモ植え付け

★参加希望の方は事前に予約

いつでもOK!

- ・学校へ参加の希望用紙（毎月配布）を提出
- ・QRコード、Gメール、電話（参加募集のお知らせに記載）で申し込み

★開催場所は

菱沼自治会館（菱沼八王子神社内）か  
松林公民館

気軽にお友だちをさそって（もちろん一人でも大丈夫！）来てみませんか。  
参加費は無料です。  
たくさんの生徒さんの参加をお待ちしています。

検温、マスク着用、消毒、換気などの感染症対策を徹底しています。安心して参加してください。

☆参加するときはお家の方に必ず伝えて来てください。

主催：松林地区まちぢから協議会子ども部会





## 「ふくろう塾」アンケートのお願い

こんにちは。まちぢから協議会の子ども部会です。  
私たちは毎月1回松林公民館や菱沼自治会館で、みんなが自由に集える居場所づくり「ふくろう塾」を運営しています。  
今年度も中学生のみなさんに気軽に来ていただけるような企画を考えています。そこで、みなさんにアンケートにご協力いただいてもっと楽しい居場所づくりを目指したいと思います。お気軽に答えていただき、機会があったらぜひ「ふくろう塾」に参加してくださいね。  
アンケートは本日中午に昇降口で回収します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### ～ふくろう塾とは～

松林学区の中学生を対象に、地域のボランティアさんと一緒に様々なワークショップを行ったあと、自由に自分のやりたい勉強をする場所です。

ボランティアさんと学校や友達、家のことを話したり、自由に過ごすことができます。

## アンケート

### ①参加できる曜日に○をつけてください(複数回答可)

月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日・土曜日・日曜日

### ②参加できる時間帯に○をつけてください(複数回答可)

10:00～12:00    13:00～15:00    15:00～17:00    17:00～20:00

### ③学習についてやりたいこと(複数回答可)

・学校の宿題    ・学校の課題(ワーク)    ・塾の宿題    ・受験勉強

### ④ワークショップについてやってみたいこと

(昨年度は、電池を使ったモーター作り実験、アロマろうそく作り、じゃがいも植え付け体験等)

### ⑤今、悩みや困っていることはありますか

・ある    ・ない

### ⑥悩みや困っていることを相談できる人はいますか

・いる    ・いない

### ⑦地域の人たちにやってほしいことなどありますか

### ⑧学年に○をつけてください    ・1年    ・2年    ・3年

☆ご協力ありがとうございました





## 「ふくろう塾」の活動について

平素は校長先生、教頭先生をはじめ教職員の皆さまには大変お世話になり、ありがとうございます。また、松林地区まちづから協議会子ども部会の活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

この度、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な活動が制限されていたことが、少しずつ再開できるようになってきました。2016年から始めた「ふくろう塾」も公民館の使用に制限があり、活動を縮小してきましたが、今月より制限がなくなり以前のような活動に戻ることにになりました。

そこで、教職員の皆さまに「ふくろう塾」の活動を知っていただきたいと思います。

子ども部会は学校との連携をとりながら、地域の子どもたちに寄り添い、成長を応援していきたいと考えています。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 子ども部会「ふくろう塾」とは・・・

### 《子ども部会の部会員は?》

推進協・青少年指導員・中学校 PTA・小学校 PTA 等地域で子どもたちに関わる活動をしている人で成り立っています。

また、学習支援のボランティアさんは元学校の先生や大学の先生などもありました。

基本は教え込まずに「見守り」です。



### 《活動内容》

- ・地域の中学生を対象に松林公民館で夕食の支援
- ・食事後、それぞれ持ち寄った勉強道具で学習する



### 《コンセプト》

- ・学校や家庭に居場所の無い子の第3の居場所となる
- ・地域の大人と関わることで孤立しないようにする
- ・学習支援を通して、学生、大人のロールモデルに出会う
- ・取り組みを通して地域で活躍できる支援者を増やす



## 《活動資金は?》

茅ヶ崎市にはまちぢから協議会の活動を応援してくれる「認定コミュニティ助成金制度」があり、助成金で活動ができています。

また、地域の方から野菜やお菓子の寄付などもあります。



## 《活動してみて・・・》

- ・活動を始めた当初は中学生だけで 15 人～20 人近い参加者があった  
相談室登校や不登校の生徒さんの参加もあり、学校の先生から「行ってみたら？」と  
勧められた生徒さんもいて、学校では困難なコミュニティを築く場所になっていた

## 「ふくろう塾」がきっかけで教室や部活に戻れた生徒もいた

- ・様々な家庭の事情を背景に持つ生徒もあり、安心して通えるサードスペースとして定着していた
- ・支援者との信頼関係も築き上げられ、進路相談をする生徒もいた



ここまでお読みいただき、先生方の頭の中に思い浮かんだ生徒さんはいたでしょうか。

あくまでも自主的な参加が望まれますが、保護者の方や生徒さんにこの活動を知っていただくことから、再出発をしたいと思います。

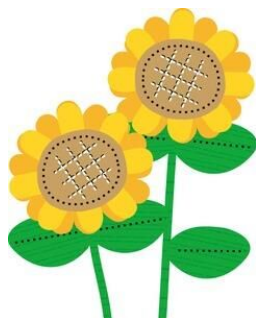
先生方にもこの活動を時々思い出していただけたら嬉しいです。



令和4年6月吉日

松林地区まちぢから協議会 子ども部会

部会長 小池実枝子



祝！ふくろう塾の名物  
カレーライス復活！！



## ふくろう塾 参加者募集

中学生のみなさん！誰でも気軽に参加できる「ふくろう塾」では5月より名物のカレーライスが復活しました。地域のボランティアさんと一緒にカレーライスを作るところからの参加でも、カレーライスを食べて勉強！の参加も大歓迎。学校、お家以外の中学生の居場所で、ちょっとホッとしませんか。たくさんの参加をお待ちしています。

日 時：7月2日(土)・8月6日(土)・9月3日(土)

時 間：17時～20時

17時からカレーライス調理

みんなで食べた後、18時半ころから勉強タイム

調理からの参加でも、食べるところからの参加でもOK

場 所：松林公民館 2階実習室・会議室

持ち物：勉強道具(自分が勉強したい教材)

調理する人はエプロン・マスク着用です



☆事前の申し込みは不要です。

当日、直接公民館へ来てください。

☆体調が悪い場合は無理せず参加を見合わせましょう。

☆お問い合わせ 090-1423-8059(神原)

090-9395-8372(中山)

[machijikara.kodomo@gmail.com](mailto:machijikara.kodomo@gmail.com)





## 特別企画！

### お出かけふくろう塾 参加者募集 「茅ヶ崎市博物館」へ行こう！



中学生のみなさん！誰でも気軽に参加できる「ふくろう塾」10月の活動は「お出かけふくろう塾」として、みんなで歩いて2022年7月にオープンした「茅ヶ崎市博物館」へ行きます。

自分たちが住んでいる茅ヶ崎の自然や歴史、文化の魅力をあらためて学んでみませんか。

近隣の文化施設で大岡越前公ゆかりのある「浄見寺」や市重要文化財の「旧和田家住宅」などにも立ち寄る予定です。

参加希望のかたは、9月26日(月)までに下記の申込書に記入して担任の先生に提出してください。

たくさんの参加をお待ちしています。

- (日にち) 10月1日(土) ☆雨天時の変更は朝7時頃にこちらからご連絡します  
(集合時間) 9時～15時頃(帰りは神奈中バスで帰ります)  
(集合場所) 松林公民館 入り口付近  
(行先) 茅ヶ崎市博物館 茅ヶ崎市堤3786番地1  
Tel0467-81-5607  
(持ち物) 水筒・汗拭きタオル・敷物・筆記用具・マスク着用  
(参加費) 無料



- \* 松林公民館から歩いていきます。歩きやすい靴を履いてきましょう
- \* 軽食を用意します。みんなで一緒に博物館の庭で食べます
- \* ご自宅で体温を測って、体調観察をお願いします
- \* 雨天時は菱沼自治会館で「ふくろう塾」を行います  
楽しいワークショップを企画しています。お楽しみに！  
時間は9時～12時となります



<お問い合わせ>

中山 090-9395-8372 神原 090-1423-8059

切り取り

☆お出かけふくろう塾に参加します

締め切り 9月26日(月)

名まえ

学年

○をつけてね

連絡先

松林中

赤羽根中

円蔵中

☆雨天時に連絡のつく電話をお願いします



# ふくろう通信

## 2023.1 月号



松林地区まちぢから協議会 子ども部会

文責：なかやまゆきえ

### 今年もよろしく願いいたします。

今年度5月より食事（ふくろう塾名物、カレーライス）を食べた後に学習、という本来の活動を再会しました。

以前とちょっと違うことは、参加者の中学生が食事作りから一緒に参加してくれることです。

たかがカレー、されどカレー。毎回使う食材は違うし、バリエーションが豊富なのも楽しいですね。

「今月は〇〇カレーにしまーす」とスタッフで知恵を出し合い？決めています。

子どもたちは「学校のこと」「家でのこと」「勉強のこと」などスタッフと話しながら調理をします。毎回参加している子は料理の腕も上達！家でも料理をする機会が増えてきたとのことで、この活動の新たな意味を発見することができました。

「ふくろう塾」は子ども食堂でも塾でもありません。中学生が家でも学校でもない場所でホッと一息つける居場所。そして、どこにも所属していない立場で新しい自分に出会えるそんな場所です。もっともっとたくさんの中学生在参加してくれたらいいな、とスタッフ一同心待ちにしています。



### 中学生リクエストメニュー バターチキンカレーと手作りナン

11月は中学生のリクエストでバターチキンカレーとナンを作りました。バターチキンカレーは鶏肉たっぷり！！ほんのり甘くとっても美味しく出来上がりました。ナンは粉からこねて、伸ばして自分で食べる分をフライパンで焼きます。初めての体験は大成功！いつもとひと味違う食事タイムとなりました。



### 初めての「おでかけふくろう塾」

気持ちの良い秋晴れの10月1日（土）、ふくろう塾は公民館を飛び出して、7月にオープンした「茅ヶ崎市博物館」へ歩いて行きました。

「茅ヶ崎市博物館」は茅ヶ崎の自然や歴史、文化の魅力を学ぶことができます。

参加者とスタッフは松林公民館からスタートし、途中で柿澤牧場に寄って乳牛を見たり、高台から自分たちが暮らしている地域を眺めたりしながら博物館まで歩きました。

博物館では館長の須藤さんに展示物の説明をしていただきました。普段目にするのでできない展示物の数々に興味津々のみなででした。帰りにはみんなでアイスを食べながら、学校のこと、家のことなどスタッフとおしゃべりし交流を深めました。

初めてのおでかけ企画は自分たちが住む地域について学ぶ良い機会となり、有意義な一日となりました。また来年度も「おでかけふくろう塾」を企画していきたいと思えます。



### 「ふくろう塾」これからの予定



「ふくろう塾」は松林地区の中学生（松林中、赤羽根中、円蔵中）を対象に夕食支援と学習支援をしています。みんなで作った夕食を食べた後、自分で持ってきた勉強をします。ぜひお気軽に参加してください。

日 時：2月4日（土） 3月4日（土）

調理 16：00～ 食事・勉強 18：00～

\*どちらから参加しても大丈夫です

場 所：松林公民館 実習室

お問合せ先：090-9395-8372（中山）





## ふくろう塾体験会のお知らせ

2023年2月吉日

松林地区まちぢから協議会代表 細田 勲

子ども部会 神原純子

松林地区まちぢから協議会子ども部会では、中学生の育ちを地域で支える「ふくろう塾」を毎月行っています。「ふくろう塾」は中学生が誰でも自由に参加できる居場所です。そこではみんなでボランティアさんが作った夕食を食べ、各自持ってきた勉強をしたり、お友達と過ごしたりします。今回は4月から中学生になる6年生のみなさんを対象に体験会を下記の日程で開催することになりましたので、お知らせいたします。たくさんの方の参加をお待ちしています。



**日時 3月4日(土)**  
**18時～19時 夜ご飯 無料です**  
(メニューはふくろう塾名物「カレーライス」です)  
**19時～20時 学習と中学生との交流**  
**場所 松林公民館 2階 第一会議室**

**ふくろう塾は一人一人が主役です。**  
**安心してお気軽に参加してください！**

まちぢから協議会子ども部会は松林地区で活動している推進協や民生児童委員、青少年指導員、PTAなどの代表で構成されています。地域の子どもの育ちを応援し活動しています。「ふくろう塾」の目的は中学校や公民館と連携し、中学生が学校や家庭とひと味違うホッとできる居場所作りです。

- \* 保護者の方の見学もできます。保護者の方が食事をする場合は300円をいただきます。
- \* 自分で勉強したいものを持参しましょう。こちらでもプリントなど用意しています。
- \* 勉強を見守るボランティアさんもいます。みんなと一緒に考えてくれます。
- \* 子どもだけの参加も大丈夫ですが、帰りは安全確保のため保護者の方に迎えに来ていただきます。
- \* 参加希望の方は下記の申込書を担任の先生に提出してください。2月28日締め切りです。

主 催 松林地区まちぢから協議会子ども部会  
お問合せ 中山 090-9395-8372  
神原 090-1423-8059

**～ボランティアしてみたい方も大募集～**  
**中学生と一緒に食事を作ってくれる方、勉強の見守りをしてくれる方、子ども部会の活動に興味がある方、大募集しています。お子さんと一緒に来てみませんか。お気軽にご連絡ください。**



きりとり

☆ふくろう塾に参加します

締め切り 2/28

松林

室田

小学校

年

組

名前

☆連絡先(電話)

☆保護者の参加

有 ・ 無

☆アレルギーの有無

有 アレルギー食材を差し支えなければお知らせください

(○をつけてください)

無



# こそだて世代の居場所 かんがるっのぽっけ



松林地区まちぢから協議会子ども部会では、子育て世代のみなさんを応援したい！と思い交流できる居場所作りを行っています。  
親戚の家を訪れるように気軽に参加してみませんか。

- ・お友だちがほしい！
- ・子どものお友だちもできたらいいな！
- ・子育てに関する情報交換をしたい！
- ・地域のことも知りたい！

そんなパパ、ママをお待ちしています。  
対応するスタッフはみんな子育て経験者です。お気軽にご参加ください。

感染防止対策について  
検温・手洗い・手指消毒  
マスクの着用をお願いします！



室内の様子  
明るいお部屋で遊んでいます



## 【開催日時】

11月28日（月）

12月26日（月）

令和5年 1月23日（月）

2月27日（月）

3月27日（月）

\* 時間は10:00～12:00

この時間内なら何時でも構いません

\* 今後の感染状況により中止になる場合もあります

## 【開催場所】

☆茅ヶ崎市高田1丁目11-50

すみれ幼稚園の北側にある一軒家です

## 【申し込み方法】

☆QRコードから、参加希望日、お名前、お子さまの年齢、  
参加人数、連絡先を登録してください  
応募数が多く先着順になった場合は、参加可能の有無をこちらからご連絡させていただきます。





## 部会紹介

松林地区まちぢから協議会の各部会の活動内容や新年度の抱負を紹介しています。新入部会員も募集しています。お住まいの自治会へお問合せ下さい。

## 子ども部会

子ども部会の令和5年度に向けた抱負

子ども部会

神原部会長代理 私達子ども部会は、子ども・保護者・学校・地域の方々の繋がりを大切にした活動を行っています。中学生を対象とした居場所事業「ふくろう塾」と多世代交流が魅力の居場所事業「おむすび松林」は、市内でも注目となり、充実した活動を行っています。スタッフが手づくりの食事提供が人気だったので、コロナ禍の影響は大きく、形を変えての活動を強いました。多世代の居場所「おむすび松林」は、小さなお子さんと保護者の居場所「かんがるのぼつけ」と対象を変えて開催したところ大変好評で、いよ



## 福祉部会

いよ4月からはおむすびの提供を再開します。当面「かんがるのぼつけ」での活動を続けますが、近い将来「おむすび松林」の多世代の居場所に戻していきたいと考えています。「ふくろう塾」はすでに食事提供を再開して、以前はスタッフのみで行っていた調理を中学生と一緒にしています。みんなで作るカレーは絶品です。今後はこの2つの活動以外に、子ども部会として地域の子どもの会を盛り上げていけるような活動を計画しています。地域のみなさんと一緒に、子どもの笑顔溢れる松林にしていきたいです。

福祉部会の令和5年度に向けた抱負

福祉部会 吉野部会長 松林地区に暮らす全ての人が多様性を認め合い、ひとり一人の価値観の違いを尊重し、共に生きる地域社会を目指し、6年前に設立し活動しています。「もう一度あの人の笑顔がみたい」という思いで、イベントでの移動支援活動に組み始め、コロナ禍となつてしまいました。活動が再開出来ない中で部会として何かできないか模索し、昨年9月から福祉部会主催のサロンの開催を開始しました。感染対策を行いながら3回のサロンを無事に終えることができました。令和5年になつて、隔月でサロンを継続することを決定しました。部会の会員には、包括支援センターのみ、茅ヶ崎社会福祉協議会の職員などがメンバーとして参加しています。サロンの中では情報提供の役割や企画を担ってくれています。サロンでは毎回参加者にアンケートを実施し、サロンの中でやってほしい活動を伺っています。そのアンケート内容共有しながら部会で

協議を行い、より良い内容を目指しています。各自治会には、2か月に1回サロンの案内を回覧してもらい、協力を得ています。毎回少しずつ違う内容となっています。参加希望の方は申込み先にご連絡をお願いしています。ご連絡は090330663054(吉野)まで。



## 自治会より

高田熊野神社社殿・神輿の修復事業 高田自治会上村会長 高田熊野神社では昨年より社殿及び神輿の修復事業を実施中です。社殿については昭和2年建設以来の歳月で(何回かの修復は実施)回廊床板の腐食、雨漏れ、正面外柱の腐



沈み込み等が発生しています。神輿については昭和52年の製作以来の経年劣化で各部位の痛みが激しく、必要状態でした。修復が必要となり、関係部署で相談の結果、修復事業を実施すること、22年5月に奉賛金(寄付金)を開始。22年9月より修復作業を開始し、23年6月作業完了を目指して現在修復作業中です。コロナ禍で3年ほど浜降祭が中止になっていたのですが、今年4年ぶりの浜降祭が開催され、修復済みのピカピカの神輿での渡御が行われる予定です。奉賛金に感謝を申上げると共に、今しばらく社殿工事で参拝される皆様にご迷惑をかけることをご容赦願います。

下赤羽自治会館の耐震工事ご報告 下赤羽自治会

コロナ禍で恒例行事を断念せざるを得ない状況の中、下赤羽自治会館の耐震診断を受けました。その結果、築40年を迎える自治会館は耐震基準に適合せず、地震や衝撃に対し倒壊、崩壊する危険性が高いという厳しい結果になりました。予算面を鑑み、この機に老朽化した1階部分の補強工事を行うこととしました。工事は内壁面を撤去し、腐食木材(一部シロアリ被害)を交換し防腐剤を塗布、接続部の金物補強と断熱材の設置後、壁面を構造用合板で塞ぐ面補強を施しました。その結果、1階部分は耐震評価1.1、2.1(一応倒壊しない)を得ることができました。また、入口をアルミ製扉に交換し、内壁クロスも新調した結果、装いも新たな自治会館のスタートとなり、休校中の長谷川夫妻他により「子ども未来塾」も再開されました。地域の皆様の活動にご利用くださいます。ご協力感謝申し上げます。

## 松林地区市民集会

今年のテーマ:地域の絆

松林地区市民集会開催

1月28日土曜日、松林公民館で松林地区まちぢから協議会主催の松林地区市民集会が3年ぶりに開催されました。行政側から佐藤市長や塩崎、岸両副市長、竹内教育長をはじめとして担当部局の幹部職員が出席し、地域住民と意見交換をし

## まちぢから松林タイムス

令和5年 三月三十一日発行 茅ヶ崎松林地区 まちぢから協議会 広報部会

ました。今回の市民集会では、住民からの状況報告が1点と行政への要望事項2点が提起され、それに対する行政の見解が報告されました。

## 報告・意見交換

住民からの状況報告 「生活安全対策における自治会の役割」 報告者 菱沼自治会 今井会長

松林小学校の通学路14カ所で見守り活動をしています。見守り要員は延べ人数で毎週72名になります。主なメンバーは自治会役員や自治会有志、PTAなどであるが慢性的に人手不足の状況にあり、この点を課題ととらえています。災害時の自助・共助に

ついては、自治会が防災マニュアルを作成し住民に配布しています。防災マニュアルには、避難行動フローチャート



・広域避難場所および避難所の地図 ・非常持ち出し袋内容(推奨)なども記載しています。その他の活動として、大阪府高槻市のブロック塀倒壊事故を教訓として緊急調査を実施しました。菱沼自治会域内では79ヶ所確認しました。自主防災組織の防災倉庫(菱沼自治会域内では9ヶ所)の保管機材や備蓄品の定期確認を行っています。自治会定例会(毎月第3土曜日)後の帰宅時に夜間パトロールを行っています。

自治会加入率の低下に対する施策の検討 提起者 ニュータウン

自治会 大野会長 ニュータウン自治会においても高齢化が進んでいます。古い家を取り壊されて新しい家が建てられ、都内などからの引っ越しも多く見受けられます。古い家を解体し土地を2分割し建築する場合が多く、世帯数は増えるのですが自治会への入会には積極的ではありません。直近では昨年(令和4年)7月に自治会入会キャンペーンを展開しましたが3件の入会しかありませんでした。今後、どのように自治会を維持し再興していくのが課題と考えています。

【自治会の役割について】

ニュータウン自治会では、自治会の役割について次のように考えています。

◆行事などを通じて会員のコミュニケーションを図り、会員相互の親睦を深めるとともに行政の情報提供を効率的に周知させる。◆行政の指導による防災対策を会員に周知

することが必要であり、防災備品などの把握をし災害時に役立つ訓練を年に複数回実施することで自助、共助の意識を維持する。◆行政が行う施策において連携が取れるようにする。

【行政と自治会の連携に関する要望】

行政と自治会の連携は非常に重要であると認識しています。しかし、前述の通り自治会を取り巻く環境は厳しく、加入率減少が切実な問題です。行政に対して「自治会加入促進に関する支援」を要望します。

【自治会加入率低下について。行政の回答】

担当課 市民自治推進課 本市の自治会加入率は、少子高齢化・核家族化の進行や生活様式の変化に伴い、統計開始時の昭和54年に98.17%に対して令和4年には73.08%まで減少しております。

地域コミュニティの核である自治会の加入率低下に伴い、地域活動の担い手が不足し、従来あった自治会活動の継続が難しい状況にあることは、自治

会と密に連携を図ってきた本市にとっても、軽視できない状況であると認識しています。

令和3年度に自治会長を対象に実施したアンケートでは、会員の高齢化により、役員等の担い手不足や自治会脱退の申し出があることも加入率低下の大きな課題の一つであったことから、行政との間における各種補助金等の申請手続きを電子化するなど、事務の煩雑さや負担を軽減できるよう努めてきました。また、今後の自治会加入促進に向けた策を講じていくため、市役所市民課へ来庁した市民を対象にアンケートを実施し、自治会活動に対する意識等を調査した結果、自治会は重要だと感じる一方でそれぞれのライフスタイルがあるため、自治会には加入していいないと回答した方が一定数存在したほか、自治会の活動が分からないという意見もありました。これらのアンケート結果をふまえ、自治会加入促進チラシを作成し、市役



## 2023行事予定

**市立小中学校始業式** 4月6日（木）  
◎場所：各小中学校

**大岡越前祭** 4月29日（土・祝）30日（日）  
◎場所：JR茅ヶ崎駅周辺や大岡家菩提寺の浄見寺周辺

**浜降祭** 7月（予定）  
◎場所：茅ヶ崎西浜海岸

**ちがさき花火大会** 8月（予定）  
◎場所 サザンビーチ

**松林地区大運動会** 10月（予定）  
◎場所 室田小学校

**松林地区防災訓練** 10月（予定）  
◎場所 未定

**松林地区福祉バザー** 11月（予定）  
◎場所 松林公民館

### 松林地区まちぢから協議会

**ふくろう塾**（居場所・学習支援事業）  
日程は子ども部会ホームページ参照  
◎場所 松林公民館

**かんがるうのぼっけ**（子育て事業）  
日程は子ども部会ホームページ参照  
◎場所 高田1丁目民家など

★詳細は松林地区まちぢから協議会子ども部会のホームページをご覧ください



## 子ども未来塾の紹介

「地域で育てる地域の子ども」を合い言葉に、無償で学習支援を行う団体です。対象は小学生で学習支援を目的としています。参加条件は勉強する気があること。きちんと塾のことを理解した上で参加してもらいたいので、面接をし登録制で行っています。また、お互い気持ちよく学習し支援するために「子ども未来塾心得」を配布し参加のルールを決めています。場所は下赤羽根自治会館です。☆興味のある方は下記メールアドレスからお問合せください。  
学生や地域の方の学習支援参加者も募集しています。

代表：長谷川秀喜



**子ども会について**  
提起者：松林地区まちぢから協議会子ども部会 神原さん、中山さん

【子ども会の必要性】  
子ども会は地域に組織された異年齢の集団です、年齢に関係なく集まって様々な活動をするにより、年下の子に優しく接するお兄さん、お姉さんを見て手本にする、など学校教育とはひと味違う学びも多いと思います。子ども会の活動には地域の手助けが必要な場合もあります。必然的に地域社会との関わりを持ち地元愛を自然と感ずることが出来ます。

子ども会とは子ども達が主体的に活動を企画するのが基本です。自主的な態度、責任感を学ぶチャンスも多く、ボランティア活動の第一歩となります。子ども会に関わった保護者同士も子育て情報交換や地域住民との交流も出来ます、地域住民と顔見知りになることで、災害時、非常事態時にはお互いに助け合うことが期待できます。

【子ども会の問題点】  
子ども会に入会する家庭が著しく減少している。原因として考えられるこ



所市民課窓口にて転入手続きで来庁された方に配布しているほか、各自治会にも提供し、ご活用いただいています。  
今後、自治会加入率向上に関する効果的な支援策を引き続き検討してまいります。

## 特集 市民集会



とは、子どもの人数減少、週末に習い事を行っている子が多い、保護者が役員をできないという理由で入会しない、仲の良い友達と地域が違うため同じ子ども会に入れない等の問題があります。

【子ども会について市への質問】  
①小学校区に一つの子ども会だとわかり易く入り易いのではないかと、そうすることで地域と連携をとり、活動の補助や情報の周知を学区全体で行うことで保護者の負担減の対策も考えられる。子ども会の在り方について市の考え方を伺いたい。

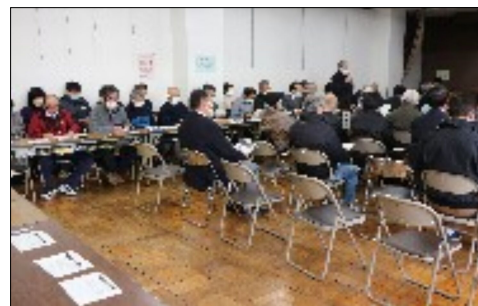
②松林地区では子ども会全てが市子連を脱退している。市子連に加入すると共済金や会議出席などの負担が増え、メリットが感じられない。そのことについて市の考えを伺いたい。

『子ども会について行政の見解』  
担当課 青少年課  
子ども会とは子どもが主体の地域活動と捉えており、年齢の異なる子ども達が一緒に活動することで、互いに協力し、思いやることの大切さを学ぶ場であると考えています。

子ども会は子どもが主体の地域活動と捉えており、年齢の異なる子ども達が一緒に活動することで、互いに協力し、思いやることの大切さを学ぶ場であると考えています。

子ども会の在り方も地域によってさまざまであること認識しており、市内には自治会単位の子ども会や学区を超えた子どもの加入がある子ども会、また保護者でなく地域の方が役員となつて運営する子ども会等があると把握し

## 防災訓練報告



令和4年度 地区防災訓練について報告

11月23日（水）冷たい雨の降る休日、地区防災訓練を実施しました。午前中は、自治会ごとに安否確認訓練を実施しました。

各自治会から松林中学校内対策本部に居る連絡員へデジタル無線機で安否確認訓練の報告が行われました。各自治会ともスムーズな報告が行われま

市としましては、子ども会の在り方に特段の制限を設けておりませんので、それぞれの地域の実情に即した形で、子ども達が主役となつて、自主的に活動できる場として、子ども会の活動が継続されるようお願いいたします。

子ども会活動についての情報交換等を図り、行政と子ども会とのパイプ役として、茅ヶ崎市子ども会連絡協議会（市子連）に御協力をいただいております。市としても、子ども会の皆様に確実に情報提供できる場として、多くの子ども会に加入していただきたいと考えております。役員としての負担や会議出席の負担等について御意見があることは承知しており、市子連役員の皆様と意見交換を行っております。引き続き多くの子ども会の参画につなげるよう、働きかけてまいります。

## トピック松林～室田小学校校長談話

室田小学校 日々の風景

室田小学校長 作道亜貴子先生

室田小学校 学校長の作道でございます。日頃より地域の方々には子どもたちの見守りを始め、ご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。皆様に、とある日の室田小学校の風景をお伝えします。

朝、横断歩道で旗振りをしている私に、いきなり手のひらを広げ、氷の塊を見せてくれる子どもがいます。向こうの畑にあった霜柱だそうです。冷たいだろうに嬉しそうに見せてくれます。授業中、多くの児童は教師の話に熱心に聞いています。「ちゃんとお話をしている人を見えていますか？お話をしようとしている人は皆が自分のことを見えていますか？」と問いかけると皆すぐに反応します。休み時間に楽しそうに遊んで元気に帰ってくる姿も見られます。教室には笑顔で友達と楽しそうにやり取りしている集団もいます。毎日楽しいことばかりではないけれど、子どもたちはそれぞれ、たくさんのことを発見し、感じ、考え、笑ったり、腹を立てたり、悲しんだりしながら生活をしています。多くの人と関わりながら、自分の生きる道を少しずつ探してほしいと思っています。



今年度もコロナ禍ではありましたが、運動会、授業参観等行うことができました。今後、さらに地域の方々にも子どもたちの活動の様子を見ていただけるよう取り組みたいと考えております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

## ごみ有料化 1年経過

昨年4月よりごみ有料化がスタートしました。有料化後のごみ排出量を検証したところ、市民の理解と協力により、ごみの減量効果が着実に表れています（茅ヶ崎市による）。

ごみ排出量の減少が見える中、今後の課題は「ごみの出し方マナー」や「リバウンド」です。

全国の各自治体のごみの有料化後にあげる懸念事項では、不適正な投棄、またリバウンドというものがありません。リバウンドとは減量したごみ量が再び元に戻る現象を言います。茅ヶ崎市が発表している全体のごみ量ではリバウンド現象はまだ見られませんが、リバウンド防止策は絶えずごみ有料化の事業の目的を市民に理解してもらう事である

「ごみ有料化」は、ごみ排出量の減少が見える中、今後の課題は「ごみの出し方マナー」や「リバウンド」です。

全国の各自治体のごみの有料化後にあげる懸念事項では、不適正な投棄、またリバウンドというものがありません。リバウンドとは減量したごみ量が再び元に戻る現象を言います。茅ヶ崎市が発表している全体のごみ量ではリバウンド現象はまだ見られませんが、リバウンド防止策は絶えずごみ有料化の事業の目的を市民に理解してもらう事である

とあります。また不適正な投棄については住民が頭を抱える問題です。「ごみの分別が悪くいつもごみが残っている」「収集日以外に出す」「通行者の不法投棄が多い」「カラス被害で散乱している」などの問題が寄せられています。こうしたごみ投棄は自治会の住民ボランティアが後片付けをしたり、注意を促したり大変な苦勞をします。市をはじめ、松林地区の各自治会より多くの情報を発信して問題の解消のため、周知徹底に取り組む住民のネットワーク構築が今後の重要課題ともいえます。また、戸別収集についても各自治会から要望意見が寄せられています。ごみの減量や資源化が、限りある資源を有効に活用することにつながることを再認識し、市の環境のみならず、地球環境を守るという観点からも、今、私たちができることは何かとを考えたときに、一人ひとりが排出するごみに責任を持つことが、改めて求められています。（文責 広報部会）